

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

別表 1

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
単元別ページ数と構成比率（合計ページ数に占める各単元の割合）		<p>◇歴史の流れをとらえよう（14ページ）</p> <p>◇古代までの日本（44ページ）</p> <p>◇中性の日本（34ページ）</p> <p>◇近世の日本（44ページ）</p> <p>◇開国と近代の歩み（54ページ）</p> <p>◇二度の世界大戦と日本（44ページ）</p> <p>◇現代の日本と世界（37ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 5.2%</p> <p>【古代】： 16.2%</p> <p>【中世】： 12.5%</p> <p>【近世】： 16.2%</p> <p>【近代】： 36.2%</p> <p>【現代】： 13.7%</p>	<p>◇歴史の移り変わりを考えよう（9ページ）</p> <p>◇原始・古代の日本と世界（38ページ）</p> <p>◇中世の日本と世界（34ページ）</p> <p>◇近世の日本と世界（44ページ）</p> <p>◇近代の幕開け（24ページ）</p> <p>◇近代の日本と世界（38ページ）</p> <p>◇二度の世界大戦と日本（42ページ）</p> <p>◇現代の日本と世界（32ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 3.2%</p> <p>【古代】： 18.6%</p> <p>【中世】： 11.5%</p> <p>【近世】： 20.1%</p> <p>【近代】： 36.6%</p> <p>【現代】： 10.0%</p>	<p>◇序章（9ページ）</p> <p>◇原始・古代の日本と世界（52ページ）</p> <p>◇中世の日本と世界（32ページ）</p> <p>◇近世の日本と世界（56ページ）</p> <p>◇近代化の進む世界と日本（62ページ）</p> <p>◇二つの世界大戦と日本（40ページ）</p> <p>◇現代の日本と世界（28ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 3.2%</p> <p>【古代】： 15.2%</p> <p>【中世】： 9.6%</p> <p>【近世】： 20.8%</p> <p>【近代】： 39.2%</p> <p>【現代】： 11.2%</p>	<p>◇歴史のとらえ方と調べ方（10ページ）</p> <p>◇古代国家の成立と東アジア（38ページ）</p> <p>◇武家政権の成長と東アジア（24ページ）</p> <p>◇武家政権の展開と世界の動き（52ページ）</p> <p>◇近代国家の歩みと国際社会（56ページ）</p> <p>◇二度の世界大戦と日本（42ページ）</p> <p>◇現在に続く日本と世界（28ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 4.0%</p> <p>【古代】： 15.2%</p> <p>【中世】： 9.6%</p> <p>【近世】： 20.8%</p> <p>【近代】： 39.2%</p> <p>【現代】： 11.2%</p>	<p>◇歴史のとらえ方（8ページ）</p> <p>◇古代までの日本（44ページ）</p> <p>◇中世の日本（38ページ）</p> <p>◇近世の日本（49ページ）</p> <p>◇日本の近代化（58ページ）</p> <p>◇二度の世界大戦と日本（40ページ）</p> <p>◇現代の日本と世界（36ページ）</p> <p>◇歴史学習の基礎資料（8ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 2.9%</p> <p>【古代】： 16.1%</p> <p>【中世】： 13.9%</p> <p>【近世】： 17.9%</p> <p>【近代】： 35.9%</p> <p>【現代】： 13.2%</p>	<p>◇歴史のとらえ方（18ページ）</p> <p>◇古代までの日本（56ページ）</p> <p>◇中世の日本（28ページ）</p> <p>◇近世の日本（44ページ）</p> <p>◇近代の日本と世界Ⅰ（58ページ）</p> <p>◇近代の日本と世界Ⅱ（40ページ）</p> <p>◇現代の日本と世界（28ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 6.6%</p> <p>【古代】： 20.6%</p> <p>【中世】： 10.3%</p> <p>【近世】： 16.2%</p> <p>【近代】： 36.0%</p> <p>【現代】： 10.3%</p>	<p>◇序章（7ページ）</p> <p>◇原始と古代の日本（52ページ）</p> <p>◇中世の日本（32ページ）</p> <p>◇近世の日本（64ページ）</p> <p>◇近代の日本と世界（54ページ）</p> <p>◇二度の世界大戦と日本（44ページ）</p> <p>◇現代の日本と世界（27ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 2.5%</p> <p>【古代】： 18.6%</p> <p>【中世】： 11.4%</p> <p>【近世】： 22.9%</p> <p>【近代】： 35.0%</p> <p>【現代】： 9.6%</p>	<p>◇歴史への案内（6ページ）</p> <p>◇原始・古代（46ページ）</p> <p>◇中性（32ページ）</p> <p>◇近世（56ページ）</p> <p>◇近代（48ページ）</p> <p>◇二つの世界大戦（64ページ）</p> <p>◇現代（38ページ）</p> <p>【歴史のとらえ方】 ： 2.1%</p> <p>【古代】： 15.9%</p> <p>【中世】： 11.0%</p> <p>【近世】： 19.3%</p> <p>【近代】： 38.6%</p> <p>【現代】： 13.1%</p>
全体の構成	単元の導入	世紀を目印に時代の移り変わりを小学校で学習した資料や写真を並べて、視覚的にとらえさせる工夫をしている。	各時代の特徴的な写真や絵画などを取り上げ、これから学習する時代のイメージをつかませようとしている。	各時代の特徴的な写真や絵画を取り上げ、発問するかたちで、興味・関心を導き出そうとしている。	各時代の特徴的な風景等をイラストで表し、発問するかたちで、興味・関心を導き出そうとしている。	各時代の特徴的な絵画や写真などを世界地図と共に取り上げ、日本の歴史をグローバルな視点からとらえ、時代の特色をあげ、学習の目的をつかめるようにしている。	各時代の特徴的な写真や絵画を取り上げ、発問するかたちで、興味・関心を導き出そうとしている。	各時代の特徴的な写真や絵画を取り上げ、発問するかたちで、興味・関心を導き出そうとしている。また、歴史の流れを大観するページと時代の特色をつかむページの2部構成としている。	各時代の特徴的なテーマを設け、それに関する写真や絵画などを世界地図とともにとりあげ、日本の歴史をグローバルな視点からとらえさせる工夫をしている。
	1時間の学習の流れ	1時間の学習内容を見開き2ページに収め「学習内容の見通し→学習活動の展開→学習内容の振り返り」の流れを構造化することで基礎・基本を習得できるよう工夫している。興味・関心を引き出すため冒頭に学習内容を象徴する資料を掲載している。また、「見通し」を持たせるために「学習課題」を設け、1時間の学習の最後には、「学習課題」に対応して「振り返り」を行う言語活動を設け、基礎・基本を定着できるようにしている。	1時間の学習内容を見開き2ページに収め冒頭に学習課題を設けて1時間の学習で何について追求していくかを明確にしている。各資料に番号を付し本文中の関係する箇所に資料番号を示している。「読み解こう」と題し、資料を活用し、考察する言語活動を取り入れている。また、「ふりかえる」と題し、ステップ1で本時で学習したことを整理、確認させ、ステップ2で学習したことを活用し、自分の言葉で表現する、言語活動を設けている。	1時間の学習内容を見開き2ページに収めている。冒頭に学習課題を設け、1時間の学習で何について追求していくか明確にしている。課題解決のための豊富な資料や解説を欄外に掲載している。1時間の学習の最後には、「確認しよう」「説明しよう」と題し、資料を活用し、考察する言語活動を取り入れている。	1時間の学習内容は、見開き2ページを基本にしているが、文化史は4ページで構成している。1時間ごとに学習課題を設定し、その課題を解決するための豊富な資料や解説がある。1時間の学習の最後には、「確認しよう」「説明しよう」と題した課題が設けられており、学習の振り返りをするとともに、言語活動を充実させる工夫をしている。	1時間の学習内容を見開き2ページに収め「学習課題→学習活動の展開→学習の確認と活用」の流れを構造化することで、基礎・基本を習得できるように工夫している。興味・関心を引き出すため冒頭に学習内容を象徴する資料を掲載し、「見通し」を持たせるために「学習課題」を設けている。1時間の学習の最後には、「学習課題」に対応して「学習の確認と活用」と題した振り返りを設けている。	1時間の学習内容を見開き2ページに収め「学習内容の見通し→学習活動の振り返り」の流れを構造化することで基礎・基本を習得できるよう工夫している。興味・関心を引き出すため冒頭に学習内容を象徴する資料を掲載している。1時間ごとに学習課題を設定され、学習に必要な語句の解説を欄外に整理している。1時間の学習の最後には、「まとめチャレンジ」と題した課題を設け、学習内容を振り返る構成になっている。	1時間の学習内容を見開き2ページに収め「学習内容の見通し→学習活動の振り返り」の流れを構造化することで基礎・基本を習得できるよう工夫している。興味・関心を引き出すため冒頭に学習内容を象徴する写真や絵画などの資料を大きく掲載している。1時間の学習の最後には、「学習課題」に対応して「振り返り」を行う言語活動を設け、基礎・基本を定着できるようにしている。	1時間の学習内容を見開き2ページに収め、冒頭に学習内容を象徴する資料を掲載するなど、興味・関心を引き出すため工夫を豊富にしている。また、本文に歴史の各場面の状況を具体的に記述し、その時代に生きた人々の姿をクロージアアップすることで歴史的事象を身近に感じることができるようにしている。
	単元の学習内容の振り返り	「時代の特色をとらえる言語活動のまとめ」を設け、通史学習の内容をもとに、様々な方法で時代の特色をとらえさせる工夫をしている。また、「基礎・基本のまとめ」のページを設け、用語の確認や資料への空白補充、年表の活用などを通して、基本事項の確認ができるようにしている。	「学習のまとめと表観」を設け、各時代を大観できる構造図を掲載するとともに、それを活用して考察・表現する言語活動を取り入れている。また、地図の活用を重視し地理の学習とも関連を図るように工夫している。	各単元のまとめとして、年表を使って各時代の特色をとらえさせる工夫をしている。また、重要語句を使用して自分の言葉で説明させる課題を設けている。	「学習をふりかえろう」と題した課題を設け、「年表」と「地図」で整理・確認させる作業がある。また、修得した知識を活用しながら、言葉で時代の特色を整理し、表現させ時代を大観させる課題を設けている。	「学習の活用」と題し、「年表」や「地図」・「表」で課題を整理・確認させる作業がある。また、修得した知識を活用しながら、言葉で時代の特色を整理し、表現させ時代を大観させる課題を設けている。	各単元末のまとめとして、「ひとこと」作文を作成し時代を大観するという課題を設けている。また、「100字用語解説」を設け、基本的な用語の確認ができるようになっている。	「学習のまとめ」と題し、「年表」や「地図」で整理・確認させる課題を設けている。また、修得した知識を活用しながら、言葉で時代の特色を整理し、表現させ時代を大観させる課題を設けている。	「ふりかえり」では、語句を空欄に埋めていく問題を設けている。また、「学習のまとめ」では、「年表」や「地図」で整理・確認させる課題があり、その時代の特徴を押さえるとともに、前の時代とも比較させるものもある。

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	
取り上げられている歴史上の人物 ◇は本文中に掲載 ◆は本文以外に掲載	古代までの日本 ◇始皇帝◇武帝 ◇アレクサンドロス大王 ◇釈迦◇イエス ◇ムハンマド◇光武帝 ◇卑弥呼◇好太王 ◇聖徳太子◇蘇我馬子 ◇推古天皇◇小野妹子 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇蘇我蝦夷 ◇蘇我入鹿 ◇大友皇子◇天武天皇 ◇持統天皇◇聖武天皇 ◇光明皇后◇行基 ◇大伴家持◇桓武天皇 ◇坂上田村麻呂◇最澄 ◇空海◇藤原道長 ◇藤原頼通◇紀貫之 ◇紫式部◇清少納言 ◇阿倍仲麻呂◇鑑真	◇ハンムラビ◇孔子 ◇シャカ◇始皇帝 ◇イエス◇卑弥呼 ◇ムハンマド ◇聖徳太子◇蘇我馬子 ◇推古天皇◇小野妹子 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇大友皇子 ◇天武天皇 ◇阿倍仲麻呂◇鑑真 ◇聖武天皇 ◇柿本人麻呂 ◇大伴家持◇桓武天皇 ◇坂上田村麻呂◇最澄 ◇空海◇藤原道長 ◇紀貫之◇紫式部 ◇清少納言 ◆広開土王◆煬帝 ◆行基◆山上憶良 ◆長屋王◆菅原道真 ◆アテルイ	◇ガウタマ=シッダールタ ◇イエス◇孔子 ◇始皇帝◇卑弥呼 ◇玄奘◇ムハンマド ◇推古天皇◇聖徳太子 ◇小野妹子 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇天武天皇 ◇聖武天皇◇光明皇后 ◇行基◇鑑真 ◇聖武天皇◇桓武天皇 ◇最澄◇空海 ◇藤原道長◇藤原頼通 ◇平将門◇藤原純友 ◇藤原清衡◇白河天皇 ◇菅原道真◇紀貫之 ◇紫式部◇清少納言 ◆孔子◆阿倍仲麻呂	◇孔子◇始皇帝◇釈迦 ◇イエス◇ムハンマド ◇卑弥呼◇聖徳太子 ◇蘇我馬子◇推古天皇 ◇小野妹子 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇天武天皇 ◇聖武天皇◇光明皇后 ◇行基◇大伴家持 ◇柿本人麻呂 ◇山上憶良◇桓武天皇 ◇坂上田村麻呂 ◇菅原道真◇藤原道長 ◇藤原頼通◇紀貫之 ◇紫式部◇清少納言 ◇最澄◇空海 ◆ワカタケル大王 ◆阿倍仲麻呂◆鑑真	◇孔子◇始皇帝◇釈迦 ◇イエス◇ムハンマド ◇卑弥呼◇聖徳太子 ◇蘇我馬子◇推古天皇 ◇小野妹子 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇天武天皇 ◇聖武天皇◇聖武天皇 ◇行基◇大伴家持 ◇柿本人麻呂 ◇山上憶良◇桓武天皇 ◇坂上田村麻呂◇最澄 ◇空海◇藤原道長 ◇藤原頼通◇紀貫之 ◇紫式部◇清少納言 ◇平将門◇藤原純友 ◆孔子◆阿倍仲麻呂 ◆鑑真◆アテルイ ◆母礼	◇相澤忠洋◇孔子 ◇始皇帝◇イエス ◇釈迦◇ムハンマド ◇卑弥呼◇広開土王 ◇聖明王◇欽明天皇 ◇聖徳太子◇推古天皇 ◇蘇我馬子◇小野妹子 ◇煬帝◇蘇我蝦夷 ◇蘇我入鹿 ◇山背大兄王 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇大友皇子 ◇大海人皇子 ◇天武天皇 ◇持統天皇◇聖武天皇 ◇光明皇后◇行基 ◇用明天皇 ◇阿倍仲麻呂◇鑑真 ◇額田王◇柿本人麻呂 ◇大伴家持◇山上憶良 ◇山部赤人◇大伴旅人 ◇桓武天皇◇最澄 ◇坂上田村麻呂◇空海 ◇アテルイ◇藤原道長 ◇藤原頼通◇菅原道真 ◇鳥羽僧正◇清少納言 ◇紫式部◇醍醐天皇 ◇紀貫之◇小野小町 ◇在原業平 ◇後白河上皇◇源信 ◇空也◇平将門 ◇藤原純友 ◇後三条天皇 ◇白河天皇◇源義家 ◆雄略天皇	◇孔子◇始皇帝 ◇卑弥呼◇好太王 ◇シャカ◇イエス ◇ムハンマド◇光武帝 ◇聖徳太子◇蘇我馬子 ◇推古天皇◇小野妹子 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇蘇我蝦夷 ◇蘇我入鹿 ◇大友皇子◇天武天皇 ◇持統天皇◇聖武天皇 ◇藤原道長 ◇阿倍仲麻呂◇鑑真 ◆仁徳天皇◆空也 ◆光明皇后	◇ガウタマ・シッダールタ ◇卑弥呼◇厩戸皇子 ◇蘇我馬子◇小野妹子 ◇中大兄皇子 ◇天智天皇 ◇中臣鎌足◇大友皇子 ◇天武天皇◇持統天皇 ◇聖武天皇◇鑑真 ◇ムハンマド ◇桓武天皇 ◇坂上田村麻呂 ◇アテルイ◇藤原道長 ◇藤原頼通 ◆孔子◆イエス ◆スバルタクス◆玄奘 ◆ワカタケル◆長屋王 ◆平将門	
	中世の日本	◇平将門◇藤原純友 ◇源義家◇後三条天皇 ◇白河天皇◇鳥羽上皇 ◇後白河天皇◇平清盛 ◇源義朝◇源頼朝 ◇源義経◇源義仲 ◇北条時政 ◇後鳥羽上皇 ◇北条泰時◇藤原定家 ◇西行◇鴨長明◇運慶 ◇兼好法師◇法然 ◇親鸞◇一遍◇日蓮 ◇柴西◇道元 ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇フビライ・ハン ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇足利尊氏◇足利義満 ◇李成桂◇足利義教 ◇足利義政◇観阿弥 ◇世阿弥 ◆北条政子◆雪舟	◇チンギス・ハン ◇フビライ・ハン ◇平将門◇藤原純友 ◇白河天皇◇平清盛 ◇源頼朝◇源義仲 ◇源義経◇北条時政 ◇後鳥羽上皇 ◇北条泰時◇藤原定家 ◇西行◇鴨長明◇運慶 ◇兼好法師◇法然 ◇親鸞◇一遍◇日蓮 ◇柴西◇道元 ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇足利尊氏◇楠木正成 ◇新田義貞◇足利義満 ◇李成桂◇尚巴志 ◇コシヤミン ◇観阿弥◇世阿弥 ◇足利義政◇蓮如 ◆マルコ・ポーロ ◆源義家◆北条政子 ◆上杉謙信◆今川義元 ◆武田信玄◆島津貴久 ◆雪舟	◇チンギス・ハン ◇フビライ・ハン ◇マルコ・ポーロ ◇平清盛◇源義朝 ◇後白河上皇 ◇源頼朝◇源義仲 ◇源義経◇源実朝 ◇後鳥羽上皇 ◇北条泰時◇法然 ◇親鸞◇一遍◇日蓮 ◇柴西◇道元 ◇藤原定家◇西行 ◇鴨長明 ◇ト部(吉田)兼好 ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇足利尊氏◇楠木正成 ◇新田義貞◇光明天皇 ◇足利義満◇李成桂 ◇コシヤミン ◇足利義政◇足利義視 ◇足利義視◇細川義尚 ◇日野富子◇雪舟 ◆北条政子◆蓮如	◇平将門◇藤原純友 ◇後三条天皇 ◇白河天皇 ◇後白河天皇 ◇平清盛◇源義朝 ◇源頼朝◇源義仲 ◇源義経◇北条政子 ◇源実朝◇後鳥羽上皇 ◇北条泰時◇運慶 ◇快慶◇西行 ◇藤原定家 ◇法然◇親鸞◇一遍 ◇日蓮◇柴西◇道元 ◇チンギス・ハン ◇フビライ・ハン ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇足利尊氏◇楠木正成 ◇新田義貞◇足利義満 ◇李成桂 ◇コシヤミン ◇足利義政◇武田信玄 ◇観阿弥◇世阿弥 ◇雪舟 ◆藤原清衡◆藤原基衡 ◆藤原秀衡◆竹崎季長	◇後三条天皇 ◇白河天皇 ◇後白河上皇 ◇源義朝◇平清盛 ◇源頼朝◇源義仲 ◇源義経◇北条政子 ◇後鳥羽上皇 ◇北条泰時◇鴨長明 ◇兼好法師◇法然 ◇親鸞◇一遍◇日蓮 ◇柴西◇道元 ◇チンギス・ハン ◇フビライ・ハン ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇足利尊氏◇楠木正成 ◇足利義満◇李成桂 ◇尚巴志◇足利義教 ◇足利義政◇雪舟 ◇観阿弥◇世阿弥 ◆運慶◆快慶 ◆竹崎季長◆上杉謙信 ◆今川義元◆武田信玄 ◆島津貴久◆毛利元就 ◆朝倉義景	◇後白河天皇 ◇崇徳上皇◇慈母 ◇平清盛◇源義朝 ◇安徳天皇◇以仁王 ◇源頼朝◇源義経 ◇北条政子◇源実朝 ◇後鳥羽上皇 ◇北条泰時 ◇チンギス・ハン ◇フビライ・ハン ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇護良親王◇足利尊氏 ◇楠木正成◇新田義貞 ◇足利義満◇足利義政 ◇足利義尚◇細川勝元 ◇山名持豊◇法然 ◇親鸞◇一遍◇日蓮 ◇柴西◇道元◇運慶 ◇快慶◇重源 ◇藤原定家◇西行 ◇源実朝◇鴨長明 ◇吉田兼好◇観阿弥 ◇世阿弥◇雪舟 ◆マルコ=ポーロ ◆蓮如	◇平将門◇藤原純友 ◇後三条天皇 ◇白河天皇 ◇後白河天皇◇平清盛 ◇源義朝◇以仁王 ◇源頼朝◇源義仲 ◇源義経◇安徳天皇 ◇北条時政 ◇後鳥羽上皇 ◇北条泰時◇法然 ◇親鸞◇一遍◇日蓮 ◇柴西◇道元 ◇藤原定家◇西行 ◇鴨長明◇吉田兼好 ◇運慶◇快慶 ◇チンギス・ハン ◇フビライ・ハン ◇北条時宗 ◇後醍醐天皇 ◇足利尊氏◇楠木正成 ◇護良親王◇新田義貞 ◇足利義満◇李成桂 ◇足利義政◇雪舟 ◇観阿弥◇世阿弥 ◇足利義政◇雪舟 ◆マルコ=ポーロ ◆蓮如	◇後白河天皇◇平清盛 ◇藤原師通◇白河天皇 ◇鳥羽上皇◇源義朝 ◇崇徳上皇◇高倉天皇 ◇安徳天皇 ◇八条院障子 ◇源頼朝◇上総介広常 ◇千葉常胤◇源義仲 ◇源義経◇北条時政 ◇後鳥羽上皇 ◇源実朝◇北条義明 ◇法然◇親鸞◇日蓮 ◇一遍◇吉田兼好 ◇サウマー ◇フレイグ・ウルス ◇チンギス・カン ◇クビライ・カン ◇後醍醐天皇 ◇楠木正成◇足利尊氏 ◇足利義満◇李成桂 ◇朱元璋◇足利義政 ◇世阿弥◇雪舟 ◆藤原清衡 ◆鎌倉権五郎景政 ◆重源
	近世の日本	◇ルター◇カルバン ◇ザビエル ◇バスコ・ダ・ガマ ◇コロンブス ◇マゼラン ◇大友宗麟 ◇織田信長◇足利義昭 ◇武田勝頼◇明智光秀 ◇豊臣秀吉(羽柴秀吉) ◇李舜臣◇狩野永徳 ◇狩野山楽◇千利休	◇レオナルド・ダ・ヴィンチ ◇ミケランジェロ ◇コペルニクス ◇ガリレオ◇ルター ◇カルバン◇バスコ・ダ・ガマ ◇コロンブス ◇マゼラン ◇フランシスコ・ザビエル	◇ルター◇カルバン ◇バスコ・ダ・ガマ ◇コロンブス ◇マゼラン◇武田信玄 ◇上杉謙信◇毛利元就 ◇フランシスコ・ザビエル ◇織田信長◇今川義元 ◇足利義昭◇豊臣秀吉 ◇明智光秀◇李舜臣 ◇狩野永徳◇狩野山楽	◇ルター◇カルバン ◇バスコ・ダ・ガマ ◇コロンブス ◇マゼラン ◇フランシスコ・ザビエル ◇織田信長◇今川義元 ◇足利義昭◇武田勝頼 ◇明智光秀◇豊臣秀吉 ◇李舜臣◇狩野永徳 ◇千利休◇出雲の阿国	◇ルター ◇バスコ・ダ・ガマ ◇コロンブス ◇マゼラン ◇フランシスコ・ザビエル ◇織田信長◇今川義元 ◇足利義昭◇武田勝頼 ◇明智光秀◇豊臣秀吉 ◇李舜臣◇狩野永徳 ◇千利休◇出雲の阿国	◇武田信玄◇上杉謙信 ◇毛利元就◇ルター ◇コロンブス ◇バスコ・ダ・ガマ ◇フランシスコ・ザビエル ◇織田信長◇今川義元 ◇足利義昭◇武田勝頼 ◇明智光秀◇豊臣秀吉 ◇李舜臣◇狩野永徳 ◇千利休◇出雲の阿国	◇バスコ・ダ・ガマ ◇コロンブス ◇マゼラン◇ルター ◇フランシスコ・ザビエル ◇大友宗麟◇織田信長 ◇今川義元◇足利義昭 ◇武田勝頼◇豊臣秀吉 ◇明智光秀◇李舜臣 ◇狩野永徳◇狩野山楽 ◇千利休◇出雲の阿国	◇コロンブス◇ルター ◇ザビエル ◇大友宗麟 ◇織田信長◇今川義元 ◇足利義昭◇武田勝頼 ◇豊臣秀吉 ◇明智光秀 ◇千利休◇伊達政宗 ◇徳川家康◇石田三成 ◇徳川家光 ◇井原西鶴◇松尾芭蕉

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
取り上げられている歴史上の人物 ◆は本文以外に掲載	近世の日本	◇出雲の阿国 ◇徳川家康◇豊臣秀頼 ◇石田三成◇毛利輝元 ◇徳川家光◇徳川秀忠 ◇天草四郎 ◇シャクシャイン ◇徳川綱吉◇新井白石 ◇徳川光圀◇井原西鶴 ◇松尾芭蕉 ◇近松門左衛門 ◇俵屋宗達◇尾形光琳 ◇菱川師宣◇徳川吉宗 ◇田沼意次◇松平定信 ◇ラクスマン ◇大黒屋光太夫 ◇レザノフ◇本居宣長 ◇杉田玄白◇伊能忠敬 ◇鈴木春信 ◇東洲斎写楽 ◇喜多川歌麿 ◇葛飾北斎◇歌川広重 ◇十返舎一九 ◇滝沢馬琴◇与謝蕪村 ◇小林一茶◇緒方洪庵 ◇シーボルト ◇渡辺崋山◇高野長英 ◇大塩平八郎 ◇水野忠邦 ◆山田長政◆三井高利 ◆間宮林蔵◆細川重賢	◇織田信長◇足利義昭 ◇今川義元◇明智光秀 ◇豊臣秀吉(羽柴秀吉) ◇徳川家康◇加藤清正 ◇小西行長◇李舜臣 ◇狩野永徳◇狩野山楽 ◇千利休◇出雲の阿国 ◇徳川家康◇徳川秀忠 ◇石田三成◇徳川家光 ◇天草四郎 ◇シャクシャイン ◇徳川綱吉◇新井白石 ◇徳川光圀◇井原西鶴 ◇松尾芭蕉 ◇近松門左衛門 ◇市川団十郎 ◇中江藤樹◇俵屋宗達 ◇尾形光琳◇菱川師宣 ◇徳川吉宗◇大岡忠相 ◇田沼意次◇松平定信 ◇本居宣長◇平篤胤 ◇杉田玄白◇平賀源内 ◇伊能忠敬◇安藤昌益 ◇東洲斎写楽 ◇喜多川歌麿 ◇葛飾北斎◇歌川広重 ◇十返舎一九 ◇滝沢馬琴◇与謝蕪村 ◇小林一茶 ◆バリニャーニ ◆伊藤マンショ ◆千々石ミゲル ◆中浦ジュリアン ◆原マルチノ ◆山田長政◆青木昆陽 ◆野國そう管 ◆二宮尊徳◆上杉鷹山 ◆緒方洪庵◆賀茂真淵 ◆堀保己一 ◆シーボルト ◆前野良沢	◇長谷川等伯 ◇千利休◇出雲の阿国 ◇徳川家康◇石田三成 ◇徳川秀忠◇徳川家光 ◇徳川綱吉 ◇坂田藤十郎 ◇市川団十郎 ◇井原西鶴◇松尾芭蕉 ◇石田三成◇徳川家光 ◇尾形光琳◇菱川師宣 ◇僧契沖◇徳川吉宗 ◇田沼意次◇松平定信 ◇ラクスマン ◇レザノフ ◇間宮林蔵◇伊能忠敬 ◇林羅山◇木下順庵 ◇賀茂真淵◇本居宣長 ◇新井白石 ◇大黒屋光太夫 ◇前野良沢◇杉田玄白 ◇シーボルト ◇高野長英 ◇十返舎一九 ◇滝沢馬琴 ◇喜多川歌麿 ◇葛飾北斎◇歌川広重 ◇小林一茶◇良寛 ◆中浦ジュリアン ◆ルイスフロイス ◆雨森芳洲 ◆シャクシャイン ◆三井高利◆青木昆陽 ◆堀保己一◆石田梅岩 ◆安藤昌益	◇徳川家康◇石田三成 ◇徳川家光 ◇シャクシャイン ◇徳川綱吉 ◇徳川綱吉 ◇近松門左衛門 ◇俵屋宗達◇尾形光琳 ◇菱川師宣◇関孝和 ◇洪川春海◇徳川吉宗 ◇近松門左衛門 ◇与謝蕪村◇小林一茶 ◇東洲斎写楽 ◇葛飾北斎 ◇歌川広重 ◇十返舎一九 ◇滝沢馬琴◇本居宣長 ◇前野良沢◇杉田玄白 ◇平賀源内◇伊能忠敬 ◆山田長政◆天草四郎 ◆高田屋嘉兵衛 ◆上杉治憲	◇徳川家光 ◇シャクシャイン ◇徳川綱吉 ◇関孝和◇宮崎安貞 ◇井原西鶴◇松尾芭蕉 ◇近松門左衛門 ◇俵屋宗達◇尾形光琳 ◇菱川師宣◇徳川吉宗 ◇田沼意次◇松平定信 ◇本居宣長◇杉田玄白 ◇前野良沢 ◇シーボルト ◇伊能忠敬◇平賀源内 ◇安藤昌益 ◇喜多川歌麿 ◇徳川光圀◇中江藤樹 ◇山鹿素行◇伊藤仁斎 ◇荻生そらい ◇関孝和◇宮崎安貞 ◇緒方洪庵 ◇フォン・シーボルト ◇吉田松陰◇石田梅岩 ◇前野良沢◇杉田玄白 ◇平賀源内◇麻田剛立 ◇伊能忠敬◇最上徳内 ◇本居宣長◇徳川吉宗 ◇大岡越前守忠相 ◇田沼意次◇青木昆陽 ◇上杉鷹山◇松平定信 ◇与謝蕪村◇小林一茶 ◇十返舎一九 ◇式亭三馬◇滝沢馬琴 ◇上田秋成 ◇東洲斎写楽 ◇喜多川歌麿 ◇葛飾北斎◇歌川広重 ◇池大雅◇円山応挙 ◇ラクスマン ◇レザノフ ◇大塩平八郎 ◇水野忠邦◇林子平 ◇会沢正志斎 ◇一橋慶喜◇高野長英 ◇渡辺崋山◇間宮林蔵 ◆イグナチウス・ロヨラ ◆マゼラン ◆中浦ジュリアン ◆千々石ミゲル ◆フェリペ2世 ◆高山右近◆コエリョ ◆二宮尊徳◆ゴッホ	◇徳川家康◇石田三成 ◇豊臣秀頼◇徳川家光 ◇天草四郎 ◇シャクシャイン ◇徳川綱吉◇新井白石 ◇徳川綱吉◇井原西鶴 ◇松尾芭蕉 ◇近松門左衛門 ◇尾形光琳◇菱川師宣 ◇俵屋宗達◇徳川光圀 ◇徳川吉宗◇関孝和 ◇徳川吉宗◇田沼意次 ◇松平定信 ◇ラクスマン ◇レザノフ◇間宮林蔵 ◇最上徳内◇近藤重蔵 ◇高野長英◇渡辺崋山 ◇大塩平八郎 ◇水野忠邦◇徳川家斉 ◇十返舎一九 ◇滝沢馬琴◇小林一茶 ◇与謝蕪村◇良寛 ◇鈴木春信 ◇喜多川歌麿 ◇葛飾北斎◇歌川広重 ◇石田梅岩◇本居宣長 ◇前野良沢◇杉田玄白 ◇伊能忠敬◇平賀源内 ◇コペルニクス ◇ニュートン ◇シーボルト ◇安藤昌益◇緒方洪庵 ◇林子平◇会沢正志斎 ◇藤田東胡◇頼山陽 ◇林羅山◇木下順庵 ◇賀茂真淵◇新井白石 ◇大黒屋光太夫 ◇シーボルト ◇高野長英 ◆カルバン ◆伊東マンショ ◆千々石ミゲル ◆中浦ジュリアン ◆原マルチノ ◆支倉常長 ◆坂田藤十郎 ◆市川団十郎 ◆上杉鷹山◆二宮尊徳 ◆田中久重	◇近松門左衛門 ◇尾形光琳◇菱川師宣 ◇シャクシャイン ◇徳川吉宗◇申維翰 ◇雨森芳洲◇徳川綱吉 ◇上杉治憲◇細川重賢 ◇田沼意次◇杉田玄白 ◇前野良沢◇クルムス ◇大槻玄沢◇平賀源内 ◇伊能忠敬 ◇喜多川歌麿 ◇宮崎安貞◇関孝和 ◇徳川吉宗◇歌川広重 ◇十返舎一九 ◇滝沢馬琴 ◇松平定信 ◇ラクスマン ◇レザノフ◇間宮林蔵 ◇最上徳内◇高野長英 ◇渡辺崋山 ◇大塩平八郎 ◇水野忠邦 ◆マゼラン◆李舜臣 ◆大黒屋光太夫 ◆エカチェリーナ2世 ◆ラクスマン	
	近代の日本と世界	◇クロムウェル ◇ワシントン ◇ニュートン◇ロック ◇モンテスキュー ◇ルソー◇ナポレオン ◇マルクス ◇ピスマルク ◇リンカン◇洪秀全 ◇ペリー◇ハリス ◇井伊直弼◇徳川家茂 ◇木戸孝允◇高杉晋作 ◇西郷隆盛 ◇大久保利通 ◇坂本龍馬◇徳川慶喜 ◇岩倉具視◇板垣退助 ◇大隈重信◇福沢諭吉 ◇中江兆民◇植木枝盛 ◇伊藤博文◇井上馨 ◇陸奥宗光◇孫文 ◇袁世凱◇寺内正毅 ◇フェノロサ ◇岡倉天心◇横山大観 ◇狩野芳崖◇高村光雲	◇エリザベス1世 ◇クロムウェル ◇ルイ14世 ◇ワシントン ◇ピスマルク ◇リンカン◇洪秀全 ◇ラクスマン ◇大塩平八郎 ◇渡辺崋山◇高野長英 ◇徳川家茂◇水野忠邦 ◇ペリー◇ハリス ◇堀田正睦◇吉田松陰 ◇井伊直弼◇木戸孝允 ◇高杉晋作◇西郷隆盛 ◇大久保利通 ◇坂本龍馬◇徳川家茂 ◇徳川慶喜◇山内豊信 ◇岩倉具視◇勝海舟 ◇榎本武揚◇明治天皇 ◇福沢諭吉◇板垣退助 ◇福沢諭吉◇板垣退助 ◇大隈重信◇伊藤博文 ◇小村寿太郎	◇ナポレオン ◇水野忠邦◇ペリー ◇阿部正弘◇ハリス ◇徳川慶喜 ◇徳川慶喜(家茂) ◇井伊直弼◇島津久光 ◇西郷隆盛◇木戸孝允 ◇坂本龍馬 ◇中岡慎太郎 ◇岩倉具視◇勝海舟 ◇伊藤博文◇明治天皇 ◇福沢諭吉◇西郷隆盛 ◇大久保利通 ◇木戸孝允 ◇板垣退助◇江藤新平 ◇中江兆民◇大隈重信 ◇陸奥宗光 ◇小村寿太郎◇安重根 ◇孫文◇袁世凱 ◇田中正造 ◇北里柴三郎 ◇野口英世◇岡倉天心	◇クロムウェル ◇ワシントン ◇ルイ14世◇ロック ◇モンテスキュー ◇ルソー◇ナポレオン ◇リンカン ◇ピスマルク ◇間宮林蔵◇高野長英 ◇大塩平八郎 ◇水野忠邦◇ペリー ◇ハリス◇井伊直弼 ◇吉田松陰◇木戸孝允 ◇高杉晋作◇西郷隆盛 ◇大久保利通 ◇坂本龍馬◇徳川慶喜 ◇岩倉具視◇明治天皇 ◇福沢諭吉◇中江兆民 ◇板垣退助◇伊藤博文 ◇岩倉具視◇植木枝盛 ◇伊藤博文◇岩倉具視 ◇板垣退助◇植木枝盛 ◇中江兆民◇大隈重信 ◇陸奥宗光◇内村鑑三 ◇幸徳秋水	◇クロムウェル ◇ワシントン ◇ナポレオン ◇リンカーン◇洪秀全 ◇高野長英◇渡辺崋山 ◇大塩平八郎 ◇水野忠邦◇ペリー ◇ハリス◇井伊直弼 ◇吉田松陰◇木戸孝允 ◇高杉晋作◇西郷隆盛 ◇大久保利通 ◇坂本龍馬◇徳川慶喜 ◇岩倉具視◇明治天皇 ◇福沢諭吉◇陸奥宗光 ◇伊藤博文◇大隈重信 ◇井上毅◇金玉均 ◇山県有朋◇桂太郎 ◇加藤高明 ◇小村寿太郎 ◇乃木希典 ◇東郷平八郎 ◇セオドア・ローズベ ◇孫文	◇クロムウェル ◇ナポレオン◇ペリー ◇阿部正弘◇ハリス ◇マルクス◇ペリー ◇阿部正弘◇ハリス ◇井伊直弼 ◇吉田松陰◇橋本左内 ◇坂本龍馬 ◇中岡慎太郎 ◇高杉晋作 ◇徳川家茂◇孝明天皇 ◇明治天皇◇徳川慶喜 ◇後藤象二郎 ◇山内豊信 ◇西郷隆盛 ◇大久保利通 ◇岩倉具視◇木戸孝允 ◇榎本武揚◇板垣退助 ◇福沢諭吉◇中村正直 ◇伊藤博文◇板垣退助 ◇大隈重信◇井上毅 ◇陸奥宗光 ◇小村寿太郎◇金玉均 ◇乃木希典	◇ルイ16世 ◇オランブ・ド・ゲー ◇ジュ ◇ナポレオン ◇アークライト ◇マルクス◇林則徐 ◇洪秀全◇孫文 ◇ペリー◇ハリス ◇井伊直弼◇高杉晋作 ◇孝明天皇◇徳川家茂 ◇西郷隆盛◇坂本龍馬 ◇岩倉具視◇明治天皇 ◇大久保利通 ◇島津久光 ◇ビスマルク ◇中江兆民◇板垣退助 ◇和田英◇千葉卓三郎 ◇渋沢権八 ◇伊藤博文◇黒田清隆 ◇植木枝盛◇陸奥宗光 ◇小村寿太郎 ◇外山亀太郎	

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
近代の日本と世界 ◇は本文中に掲載 ◆は本文以外に掲載	◇滝廉太郎 ◇二葉亭四迷 ◇与謝野晶子 ◇樋口一葉 ◇森鴎外 ◇野口英世 ◇スターリン ◇ウィルソン ◇ガンディー ◇原敬 ◇美濃部達吉 ◇平塚らいてう ◇加藤高明 ◇西田幾多郎 ◇志賀直哉 ◇谷崎潤一郎 ◇芥川龍之介 ◇小林多喜二 ◇岸田劉生 ◇野口雨情 ◇宮城道雄 ◇フランクリン・ルー ◇ムッソリーニ ◇ヒトラー ◇張作霖 ◇溥儀 ◇犬養毅 ◇毛沢東 ◇チャーチル ◇東条英機 ◆ルイ14世 ◆ピョートル1世 ◆ハリェット・ストウ ◆吉田松陰 ◆明治天皇 ◆尚泰 ◆セシル・ローズ ◆小村寿太郎 ◆八田與一 ◆島崎藤村 ◆ニコライ2世 ◆新渡戸稲造 ◆梅屋庄吉 ◆杉浦千畝 ◆アンネ・フランク ◆石井十次	◇東郷平八郎 ◇袁世凱 ◇田中正造 ◇フェノロサ ◇岡倉天心 ◇狩野芳崖 ◇黒田清輝 ◇与謝野晶子 ◇樋口一葉 ◇森鴎外 ◇島崎藤村 ◇北里柴三郎 ◇野口英世 ◇長岡半太郎 ◇レーニン ◇ウィルソン ◇蒋介石 ◇桂太郎 ◇尾崎行雄 ◇吉野作造 ◇美濃部達吉 ◇寺内正毅 ◇平塚らいてう ◇市川房枝 ◇西田郁太郎 ◇柳田国男 ◇谷崎潤一郎 ◇芥川龍之介 ◇小林多喜二 ◇岸田劉生 ◇フランクリン＝ロー ◇ズベルト ◇ヒトラー ◇ムッソリーニ ◇スターリン ◇浜口雄幸 ◇犬養毅 ◇高橋是清 ◇近衛文麿 ◇チャーチル ◇東条英機 ◆ロック ◆モンテスキュー ◆ルソー ◆ワット ◆ナイティンゲール ◆間宮林蔵 ◆後藤象二郎 ◆横井小楠 ◆クラーク ◆山川捨松 ◆山口尚芳 ◆金田一京助 ◆セシル・ローズ ◆寺内宗則 ◆青木周蔵 ◆ビゴ ◆八田與一 ◆高橋是清 ◆新島襄 ◆岩崎弥太郎 ◆新渡戸稲造 ◆石橋湛山 ◆アンネ ◆後藤新平	◇フェノロサ ◇横山大観 ◇レーニン ◇スターリン ◇ガンジー ◇原敬 ◇ヒトラー ◇スターリン ◇東条英機 ◆エカチェリーナ2世 ◆ワシントン ◆マルクス ◆大塩平八郎 ◆橋本左内 ◆高杉晋作 ◆津田梅子 ◆ベルツ ◆東郷平八郎 ◆与謝野晶子 ◆夏目漱石 ◆森鴎外 ◆徳積陳重 ◆魯迅 ◆小林多喜二 ◆ムッソリーニ	◇東郷平八郎 ◇小村寿太郎 ◇袁世凱 ◇田中正造 ◇フェノロサ ◇狩野芳崖 ◇横山大観 ◇高橋由一 ◇萩原守衛 ◇二葉亭四迷 ◇正岡子規 ◇夏目漱石 ◇石川啄木 ◇野口英世 ◇長岡半太郎 ◇北里柴三郎 ◇レーニン ◇ウィルソン ◇ガンディー ◇犬養毅 ◇吉野作造 ◇加藤高明 ◇平塚らいてう ◇市川房枝 ◇芥川龍之介 ◇谷崎潤一郎 ◇山田耕筰 ◇ロズベルト ◇スターリン ◇ムッソリーニ ◇ヒトラー ◇溥儀 ◇近衛文麿 ◆高杉晋作 ◆河合継之助 ◆徳川齊昭 ◆調所広郷 ◆中岡慎太郎 ◆後藤象二郎 ◆小林虎三郎 ◆明治天皇 ◆尚泰 ◆黒田清隆 ◆川上音二郎 ◆八田與一 ◆与謝野晶子 ◆梅屋庄吉 ◆洪沢栄一 ◆美濃部達吉 ◆知里幸恵 ◆浜口雄幸 ◆チャップリン ◆杉浦千畝 ◆アンネ＝フランク ◆斎藤隆夫	◇正岡子規 ◇夏目漱石 ◇長岡半太郎 ◇北里柴三郎 ◇レーニン ◇ウィルソン ◇ガンディー ◇西園寺公望 ◇吉野作造 ◇美濃部達吉 ◇加藤高明 ◇武者小路実篤 ◇芥川龍之介 ◇谷崎潤一郎 ◇小林多喜二 ◇吉川英治 ◇江戸川乱歩 ◇スターリン ◇ムッソリーニ ◇ヒトラー ◇ルーズベルト ◇蒋介石 ◇溥儀 ◇毛沢東 ◆洪沢栄一 ◆フェノロサ ◆岡倉天心 ◆津田梅子 ◆山本作兵衛 ◆西光万吉 ◆豊田佐吉 ◆アンネ＝フランク ◆杉浦千畝	◇宣統帝 ◇袁世凱 ◇田中正造 ◇幸徳秋水 ◇野口英世 ◇北里柴三郎 ◇二葉亭四迷 ◇樋口一葉 ◇夏目漱石 ◇与謝野晶子 ◇石川啄木 ◇フェノロサ ◇岡倉天心 ◇狩野芳崖 ◇黒田清輝 ◇藤島武二 ◇滝廉太郎 ◇レーニン ◇スターリン ◇ウィルソン ◇ケマル・アタチュルク ◇吉野作造 ◇平塚らいてう ◇加藤高明 ◇志賀直哉 ◆武者小路実篤 ◆谷崎潤一郎 ◆芥川龍之介 ◆大正天皇 ◆裕仁親王 ◆フランクリン・ルー ◆ズベルト ◆犬養毅 ◆マルクス ◆スターリン ◆ムッソリーニ ◆ヒトラー ◆幣原喜重郎 ◆溥儀 ◆張学良 ◆近衛文麿 ◆鈴木貫太郎 ◆阿南惟幾 ◆小林虎三郎 ◆伊波普猷 ◆イザベラ・バード ◆井上馨 ◆金玉均 ◆秋山好古 ◆ジョン・マクマリー ◆ゾルゲ ◆杉浦千畝 ◆東条英機 ◆チャンドラ・ボース ◆ククリット・プラモ ◆バー・モー	◇東郷平八郎 ◇ネルー ◇洪沢栄一 ◇岩崎弥太郎 ◇フェノロサ ◇狩野芳崖 ◇横山大観 ◇高村光雲 ◇滝廉太郎 ◇二葉亭四迷 ◇正岡子規 ◇与謝野晶子 ◇夏目漱石 ◇野口英世 ◇長岡半太郎 ◇北里柴三郎 ◇レーニン ◇スターリン ◇ウィルソン ◇ガンディー ◇ネルー ◆犬養毅 ◆尾崎行雄 ◆原敬 ◆大正天皇 ◆吉野作造 ◆加藤高明 ◆柳田国男 ◆志賀直哉 ◆幣原喜重郎 ◆後藤新平 ◆西田幾多郎 ◆柳田国男 ◆芥川龍之介 ◆志賀直哉 ◆谷崎潤一郎 ◆武者小路実篤 ◆安井曾太郎 ◆竹久夢二 ◆フランクリン・ルー ◆ズベルト ◆ムッソリーニ ◆ヒトラー ◆蒋介石 ◆溥儀 ◆張作霖 ◆近衛文麿 ◆斎藤隆夫 ◆鈴木貫太郎 ◆阿南惟幾 ◆勝海舟 ◆大村益次郎 ◆シュリーマン ◆モース ◆イザベル・バード ◆ベルツ ◆リンカーン ◆黒田清隆 ◆三島通庸 ◆金子堅太郎 ◆高橋是清 ◆ナウマン ◆新渡戸稲造 ◆中江兆民 ◆アンネ ◆杉浦千畝 ◆樋口季一郎 ◆トインビー ◆チャンドラ・ボース ◆島田叡 ◆大佛次郎 ◆徳富蘇峰 ◆ムスタファ・ケル ◆スカルノ	◇野口英世 ◇長岡半太郎 ◇北里柴三郎 ◇フェノロサ ◇岡倉天心 ◇夏目漱石 ◇袁世凱 ◇レーニン ◇ウィルソン ◆柳寛順 ◆マリ・キュリー ◆スルタンガリエフ ◆寺内正毅 ◆平塚らいてう ◆市川房枝 ◆桂太郎 ◆原敬 ◆吉野作造 ◆チャップリン ◆犬養毅 ◆ヒトラー ◆蒋介石 ◆張作霖 ◆溥儀 ◆岡田啓介 ◆高橋是清 ◆小林多喜二 ◆毛沢東 ◆アンネ・フランク ◆オードリー・ヘプバー ◆加藤義典 ◆佐々木禎子 ◆昭和天皇 ◆エンゲルス ◆福沢諭吉 ◆大隈重信 ◆与謝野晶子 ◆スターリン ◆ガンジー ◆山本宣治 ◆ムッソリーニ ◆ピカソ

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
<p>取り上げられている歴史上の人物 ◆は本文以外に掲載</p>	現代の日本と世界	<p>◇マッカーサー ◇吉田茂◇岸信介 ◇鳩山一郎◇田中角栄 ◇佐藤栄作◇黒澤明 ◇長嶋茂雄◇王貞治 ◇大鵬◇松本清張 ◇司馬遼太郎 ◇川端康成 ◇大江健三郎 ◇細川護熙 ◆ネルー◆ケネディ ◆フルシチョフ ◆手塚治◇宮崎駿 ◆ゴルバチョフ ◆鄧小平◆ブッシュ ◆細川護熙</p>	<p>◇マッカーサー ◇黒澤明◇湯川秀樹 ◇吉田茂◇岸信介 ◇田中角栄◇佐藤栄作 ◇池田勇人 ◆ネルー ◆アイゼンハワー ◆周恩来◆ブッシュ ◆ゴルバチョフ ◆小泉純一郎◆金正日 ◆プーチン◆安倍晋三 ◆嘉納治五郎</p>	<p>◇マッカーサー ◇毛沢東◇佐藤栄作 ◇田中角栄 ◇ゴルバチョフ ◇ブッシュ◇鄧小平</p>	<p>◇マッカーサー ◇吉田茂◇鳩山一郎 ◇岸信介◇田中角栄 ◇佐藤栄作◇池田勇人 ◇力道山◇黒澤明 ◇長嶋茂雄◇王貞治 ◇若乃花◇大鵬 ◇松本清張 ◇司馬遼太郎 ◇川端康成 ◇大江健三郎 ◇手塚治虫 ◇ゴルバチョフ ◇昭和天皇◇細川護熙 ◇村山富市 ◇小泉純一郎 ◆美空ひばり</p>	<p>◇マッカーサー ◇周恩来◆ネルー ◇吉田茂 ◇鳩山一郎 ◇池田勇人 ◇岸信介 ◇佐藤栄作◇田中角栄 ◇細川護熙</p>	<p>◇マッカーサー ◇毛沢東 ◇フルシチョフ ◇岸信介◇池田勇人 ◇佐藤栄作◇田中角栄 ◇明仁親王(平成天皇) ◇川端康成 ◇三島由紀夫 ◇石原慎太郎 ◇湯川秀樹 ◇美空ひばり ◇松本清張 ◇司馬遼太郎 ◇小津安二郎◇黒澤明 ◇手塚治虫◇宮崎駿 ◇レーガン ◇ゴルバチョフ ◆バル◆八田與一</p>	<p>◇マッカーサー ◇毛沢東◇吉田茂 ◇岸信介◇池田勇人 ◇ニクソン ◇ゴルバチョフ ◇昭和天皇◇明仁親王 ◇黒澤明◇湯川秀樹 ◇太宰治◇三島由紀夫 ◇小林秀雄 ◇大江健三郎 ◇石原慎太郎 ◇棟方志功◇藤原嗣治 ◇古橋広之進◇王貞治 ◇長嶋茂雄◇大鵬 ◇力道山◇美空ひばり ◇石原裕次郎 ◇手塚治虫◇フセイン ◇オバマ ◆島安次郎◆島秀雄 ◆島隆 ◆ラダ・ビノード・パール</p>	<p>◇山口シヅエ ◇マッカーサー ◇鈴木安蔵◇大田昌秀 ◇呂運亨◇吉田茂 ◇岸信介◇池田勇人 ◇佐藤栄作◇田中角栄 ◇周恩来</p>
	人物合計	<p>【古代】◇33人◆2人 【中世】◇37人◆2人 【近世】◇58人◆4人 【近代】◇81人◆23人 【現代】◇15人◆9人 【合計】 ◇224人◆40人</p>	<p>【古代】◇28人◆7人 【中世】◇36人◆8人 【近世】◇58人◆15人 【近代】◇98人◆39人 【現代】◇8人◆10人 【合計】 ◇228人◆79人</p>	<p>【古代】◇31人◆2人 【中世】◇37人◆2人 【近世】◇57人◆9人 【近代】◇47人◆24人 【現代】◇7人◆0人 【合計】 ◇179人◆37人</p>	<p>【古代】◇29人◆3人 【中世】◇39人◆4人 【近世】◇43人◆4人 【近代】◇84人◆31人 【現代】◇23人◆1人 【合計】 ◇218人◆43人</p>	<p>【古代】◇29人◆5人 【中世】◇33人◆9人 【近世】◇43人◆8人 【近代】◇70人◆13人 【現代】◇10人◆0人 【合計】 ◇185人◆35人</p>	<p>【古代】◇58人◆1人 【中世】◇43人◆0人 【近世】◇84人◆9人 【近代】◇92人◆18人 【現代】◇21人◆2人 【合計】 ◇298人◆30人</p>	<p>【古代】◇38人◆3人 【中世】◇41人◆2人 【近世】◇81人◆11人 【近代】◇92人◆34人 【現代】◇28人◆4人 【合計】 ◇280人◆54人</p>	<p>【古代】◇18人◆7人 【中世】◇39人◆3人 【近世】◇45人◆5人 【近代】◇68人◆9人 【現代】◇11人◆0人 【合計】 ◇181人◆24人</p>
受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めるための「身近な地域の歴史」の調査事例	<p>「私たち歴史探検隊」 ◇古代の玄関口・福岡大陸との交流を探る (P54~57) ◇戦国時代の城下町・一乗谷 朝倉氏のまちづくり (P88~91) ◇浮世絵にえがかれた風景から 浮世絵を探る (P134~135) ◇町の中に残る歴史・神戸 開港後の生活の変化を探る (P186~189) ◇原爆ドームの保存と平和への願い 原爆ドームの歴史 広島県広島市 (P230~233) ◇町の歴史から将来を考える 福島県いわき市 (P264~267)</p>	<p>「郷土の歴史を探ろう」 ◇地域の遺跡や古墳を尋ねて (P30~31) ◇地域の寺社や墓碑を訪ねて (P66~67) ◇地域の街道や港を訪ねて (P116~117) ◇大正・昭和初期の面影を訪ねて (P210~211) ◇移り変わる戦後の町を訪ねて (P252~253)</p>	<p>「歴史のとびら⑤」 ◇身近な地域を調べよう (P138~143)</p>	<p>「歴史を探ろう」 ◇古墳からわかる当時のようす (P28~29) ◇東アジアに開かれた窓口博多 (P64~65) ◇琉球とアイヌの人々の暮らし (P112~113) ◇昆布ロードと北前船 (P122~123) ◇世界有数の百万都市江戸 (P134~135) ◇世界に開かれた港横浜 (P164~165) ◇移住と開拓が進む北海道 (P170~171) ◇発展する産業都市大阪・神戸 (P212~213) ◇長野県からみる「満州」移民 (P222~223) ◇戦場となった沖縄 (P230~231) ◇日本の領土と近隣諸国 (P246~247)</p>	<p>「でかけよう！地域調べ」 ◇史跡見学に行こう 平城京跡を歩くー奈良県奈良市ー (P54~55) ◇歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べるー広島県福山市ー (P92~93) ◇城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べるー兵庫県姫路市ー (P114~115) ◇近代化遺産を訪ねよう 富岡製糸場を調べるー群馬県富岡市ー (P180~181) ◇戦争遺跡を訪ねよう 大阪の空襲を調べるー大阪府大阪市ー (P240~241) ◇地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べる (P276~277)</p>	<p>「歴史のとらえ方」 ◇地域の歴史を調べるー東京都渋谷区ー (P20~24)</p>	<p>「地域調査に出かけてみよう！」 (P12) 「課題学習」 ◇縄文時代探検！ー博物館で調べてみよう (P22~23) ◇奈良・京都の文化遺産を調べよう (P60~61) ◇城を探検してみよう (P115) ◇歴史新聞をつくろう (P276~277)</p> <p>「歴史ズームイン」 ◇戦国大名の富国策ー信玄堤 (P90) ◇幻の町・草戸千軒 (P91)</p>	<p>「歴史への案内」 ◇地域の博物館で調べる (P140~141) ◇地域の歴史を歩く (東京都小平市) (P140~141)</p>	

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	
<p>取り上げられている我が国の歴史に影響を与えた世界の歴史的事象（本文中に太字（ゴシック体）で記載されている事項、人物名等）</p>	<p>古代までの日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇猿人◇打製石器 ◇原人 ◇新人（ホモ・サピエンス） ◇旧石器時代◇土器 ◇磨製石器 ◇新石器時代 ◇農耕や牧畜◇青銅器 ◇鉄器◇エジプト文明 ◇メソポタミア文明 ◇インダス文明 ◇中国文明◇太陽暦 ◇象形文字◇楔形文字 ◇殷◇甲骨文字◇孔子 ◇儒学（儒教）◇秦 ◇始皇帝◇漢 ◇シルクロード（絹の道） ◇高句麗◇アテネ ◇ポリス ◇ギリシャ文明 ◇アレクサンドロス大王 ◇ヘレニズム ◇シャカ（釈迦） ◇仏教◇イエス ◇キリスト教 ◇ムハンマド ◇イスラム教◇百済 ◇新羅 ◇伽耶地域（任那） ◇随◇唐◇律令◇宋 	<ul style="list-style-type: none"> ◇猿人◇打製石器 ◇原人◇新人 ◇旧石器時代 ◇磨製石器 ◇新石器時代◇文明 ◇太陽暦◇象形文字 ◇楔形文字◇太陰暦 ◇青銅器◇殷 ◇甲骨文字◇孔子 ◇儒教◇シャカ ◇仏教◇秦の始皇帝 ◇漢◇シルクロード ◇高句麗◇百済◇新羅 ◇イエス◇キリスト教 ◇随◇律令◇唐 ◇ムハンマド ◇イスラム教 	<ul style="list-style-type: none"> ◇化石◇遺物◇猿人 ◇原人◇進化 ◇氷河期◇打製石器 ◇旧人◇新人 ◇旧石器時代◇農耕 ◇磨製石器◇土器 ◇新石器時代◇国 ◇青銅器◇文字 ◇暦◇文明 ◇くさび形文字 ◇象形文字 ◇インダス文明 ◇シャカ◇仏教 ◇都市国家◇哲学 ◇デモクラチア ◇ローマ文明 ◇ローマ帝国 ◇イエス ◇キリスト教 ◇青銅器◇甲骨文字 ◇漢字◇周 ◇鉄製農具◇孔子 ◇儒学◇秦◇始皇帝 ◇万里の長城 ◇朝貢◇百済・新羅 ◇唐◇イスラーム ◇ムハンマド ◇イスラーム帝国 	<ul style="list-style-type: none"> ◇道具◇猿人◇言葉 ◇打製石器 ◇旧石器時代◇新人 ◇磨製石器◇土器 ◇新石器時代◇王 ◇都市◇文字 ◇メソポタミア文明 ◇青銅器 ◇エジプト文明 ◇インダス文明 ◇中国文明◇殷 ◇甲骨文字◇孔子 ◇鉄製の農具 ◇秦の始皇帝◇漢 ◇儒教◇シルクロード ◇シャカ◇仏教 ◇ポリス◇民主政治 ◇ローマ帝国◇イエス ◇キリスト教 ◇ムハンマド ◇イスラム教◇高句麗 ◇百済◇新羅◇隋◇唐 ◇律令◇宋◇高麗 	<ul style="list-style-type: none"> ◇直立二足歩行◇猿人 ◇打製石器◇原人 ◇新人◇旧石器時代 ◇農耕◇牧畜 ◇磨製石器 ◇新石器時代◇文明 ◇原始時代◇都市 ◇文字◇青銅器◇国家 ◇メソポタミア文明 ◇エジプト文明 ◇インダス文明◇鉄器 ◇殷◇甲骨文字◇古代 ◇秦◇始皇帝◇漢 ◇シルクロード ◇シャカ◇仏教 ◇イエス◇キリスト教 ◇隋◇律令◇唐◇長安 	<ul style="list-style-type: none"> ◇猿人◇石器◇原人 ◇新人◇氷河時代 ◇旧石器時代 ◇磨製石器 ◇新石器時代◇文明 ◇国家◇儒教◇秦◇漢 ◇シルクロード ◇多神教◇一神教 ◇イエス◇キリスト教 ◇仏教◇釈迦 ◇ムハンマド ◇イスラム教 	<ul style="list-style-type: none"> ◇猿人◇打製石器 ◇原人◇新人 ◇旧石器時代◇農耕 ◇牧畜◇磨製石器 ◇新石器時代◇国家 ◇青銅器◇鉄器 ◇金属器◇文字 ◇文明◇エジプト文明 ◇メソポタミア文明 ◇インダス文明◇儒教 ◇仏教◇多神教 ◇イエス◇キリスト教 ◇聖書◇ムハンマド ◇イスラム教◇唐 	<ul style="list-style-type: none"> ◇エジプトの文明 ◇インドの文明 ◇中国の文明 ◇ローマの文明 ◇キリスト教の成立 ◇仏教の成立 ◇イスラム教の成立 ◇インド洋へ地中海へ <p>※本文中に太字（ゴシック体）での記載が無いため、単元の標題となっている語句を記載</p>	
	<p>中世の日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇モンゴル帝国 ◇フビライ・ハン ◇明◇朝鮮国 	<ul style="list-style-type: none"> ◇宋◇朱子学◇元 ◇高麗◇明◇朝鮮 	<ul style="list-style-type: none"> ◇高麗◇宋◇朱子学 ◇チンギス・ハン ◇モンゴル帝国 ◇フビライ・ハン◇元 ◇東方見聞録◇明 ◇朝鮮王国 	<ul style="list-style-type: none"> ◇チンギス・ハン ◇モンゴル帝国 ◇フビライ・ハン◇元 ◇明◇朝鮮 	<ul style="list-style-type: none"> ◇モンゴル帝国 ◇フビライ・ハン ◇元◇明◇朝鮮国 ◇朝鮮 	<ul style="list-style-type: none"> ◇チンギス・ハン ◇モンゴル帝国 ◇フビライ・ハン◇元 ◇朝鮮 	<ul style="list-style-type: none"> ◇モンゴル帝国 ◇フビライ・ハン◇元 ◇明◇朝鮮国 	<ul style="list-style-type: none"> ◇モンゴル帝国 ◇フビライ・ハン◇元 ◇明◇朝鮮国 	<p>※本文中に太字（ゴシック体）での記載が無いため、単元の標題となっている語句を記載</p>
	<p>近世の日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇カトリック教会 ◇正教会 ◇ローマ教皇（法王） ◇十字軍 ◇ルネサンス ◇宗教改革 ◇プロテスタント ◇イエズス会 ◇大航海時代 ◇コロンブス◇植民地 ◇マゼラン◇清 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ローマ教皇 ◇カトリック教会 ◇コーラン◇十字軍 ◇ルネサンス ◇レオナルド・ダ・ヴィンチ ◇宗教改革 ◇プロテスタント ◇コロンブス ◇バスコ・ダ・ガマ ◇マゼラン◇植民地 ◇イエズス会◇清 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ローマ教会 ◇ルネサンス ◇ルター◇宗教改革 ◇イエズス会 ◇ポルトガル ◇スペイン ◇バスコ=ダ=ガマ ◇コロンブス ◇マゼラン◇明◇清 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ローマ教皇◇十字軍 ◇ルネサンス ◇宗教改革 ◇イエズス会◇香辛料 ◇コロンブス ◇バスコ・ダ・ガマ ◇清 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ムハンマド◇十字軍 ◇ルネサンス◇ルター ◇宗教改革 ◇イエズス会 ◇ポルトガル ◇バスコ・ダ・ガマ ◇絹織物 ◇バスコ・ダ・ガマ ◇植民地◇コロンブス ◇プランテーション ◇黒人奴隷◇マゼラン 	<ul style="list-style-type: none"> ◇宗教改革 ◇コロンブス ◇大航海時代 ◇トルデシヤス条約 	<ul style="list-style-type: none"> ◇大航海時代◇植民地 ◇宗教改革 	<ul style="list-style-type: none"> ◇スペインの中南米征服 ◇ポルトガルの進出 ◇朝鮮・琉球との外交 ◇ロシアの進出 <p>※本文中に太字（ゴシック体）での記載が無いため、単元の標題となっている語句を記載</p>	
<p>近代の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ピューリタン革命 ◇名誉革命◇独立宣言 ◇ロック ◇モンテスキュー ◇ルソー◇絶対王政 ◇フランス革命 ◇ナポレオン ◇産業革命◇資本主義 ◇社会主義 ◇ビスマルク ◇南下政策◇南北戦争 ◇リンカーン ◇三角貿易 ◇アヘン戦争 ◇南京条約 ◇太平天国の乱 ◇インダの大反乱 ◇帝国主義 ◇甲午農民戦争 ◇義和団事件 ◇南京条約 ◇太平天国の乱 ◇インダの大反乱 ◇帝国主義 ◇甲午農民戦争 ◇義和団事件 ◇孫文◇中華民国 ◇辛亥革命◇三国協商 ◇三国同盟 ◇第一次世界大戦 ◇総力戦◇ロシア革命 ◇民族自決 ◇ソビエト社会主義共和国連邦 ◇ベルサイユ条約 	<ul style="list-style-type: none"> ◇絶対王政 ◇ピューリタン革命 ◇名誉革命◇独立宣言 ◇アメリカ合衆国 ◇フランス革命 ◇人権宣言◇産業革命 ◇資本主義◇社会主義 ◇リンカーン ◇南北戦争◇近代化 ◇列強◇インド大反乱 ◇アヘン戦争 ◇南京条約◇太平天国 ◇帝国主義 ◇甲午農民戦争 ◇義和団事件 ◇孫文◇中華民国 ◇辛亥革命◇三国協商 ◇三国同盟 ◇第一次世界大戦 ◇総力戦◇ロシア革命 ◇民族自決 ◇ソビエト社会主義共和国連邦 ◇ベルサイユ条約 	<ul style="list-style-type: none"> ◇大西洋貿易 ◇プランテーション ◇奴隷貿易 ◇三角貿易 ◇ロシア帝国 ◇オスマン帝国 ◇独立宣言 ◇アメリカ合衆国 ◇アメリカ合衆国憲法 ◇フランス革命 ◇ナポレオン ◇国民意識◇産業革命 ◇資本主義 ◇社会主義 ◇労働運動◇ドイツ ◇大英帝国◇ロンドン ◇南北戦争◇帝国主義 ◇インド大反乱 ◇アヘン戦争 ◇甲午農民戦争 ◇義和団事件◇孫文 ◇中華民国◇辛亥革命 ◇軍閥◇三国協商 ◇三国同盟 	<ul style="list-style-type: none"> ◇市民社会◇近代化 ◇議会◇共和制 ◇ピューリタン革命 ◇名誉革命 ◇権利の章典 ◇立憲君主制 ◇アメリカ独立戦争 ◇独立宣言 ◇基本的人権 ◇フランス革命 ◇人権宣言 ◇ナポレオン ◇産業革命◇資本主義 ◇社会主義◇近代国家 ◇南北戦争◇リンカーン ◇植民地 ◇インド大反乱 ◇アヘン戦争 ◇南京条約◇列強 ◇帝国主義 ◇甲午農民戦争 ◇義和団事件◇孫文 ◇三民主義◇中華民国 ◇辛亥革命◇三国協商 	<ul style="list-style-type: none"> ◇名誉革命 ◇権利の章典 ◇議会政治◇産業革命 ◇独立宣言 ◇アメリカ合衆国 ◇フランス革命 ◇人権宣言◇市民革命 ◇ナポレオン ◇資本主義◇労働組合 ◇労働運動◇社会主義 ◇南北戦争 ◇リンカーン ◇奴隷解放宣言 ◇インド大反乱◇清 ◇アヘン戦争 ◇南京条約◇太平天国 ◇帝国主義 ◇義和団事件◇孫文 ◇三民主義◇中華民国 ◇辛亥革命◇三国協商 ◇ヨーロッパの火薬庫 ◇第一次世界大戦 ◇総力戦◇レーニン 	<ul style="list-style-type: none"> ◇名誉革命 ◇独立戦争◇独立宣言 ◇フランス革命 ◇人権宣言◇市民革命 ◇産業革命 ◇アヘン戦争 ◇南京条約 ◇義和団事件 ◇中華民国◇辛亥革命 ◇義和団事件 ◇三国協商◇三国同盟 ◇ロシア革命 ◇第一次世界大戦 ◇ソビエト社会主義共和国連邦 ◇総力戦 ◇ベルサイユ条約 ◇国際連盟◇ガンジー ◇三・一独立運動 ◇ワシントン会議 ◇五・四運動 ◇ワシントン会議 ◇世界恐慌 	<ul style="list-style-type: none"> ◇独立宣言 ◇フランス革命 ◇人権宣言◇市民革命 ◇産業革命◇資本主義 ◇社会主義 ◇インド大反乱 ◇アヘン戦争 ◇南京条約 ◇太平天国の乱 ◇義和団事件 ◇黄禍論◇三民主義 ◇辛亥革命◇中華民国 ◇三国同盟◇三国協商 ◇ロシア革命 ◇第一次世界大戦 ◇ロシア革命 ◇共産主義 ◇ベルサイユ条約 ◇国際連盟◇民族自決 ◇五・四運動 ◇三・一独立運動 ◇ワシントン会議 ◇世界恐慌 ◇ブロック経済 ◇ニューディール政策 	<ul style="list-style-type: none"> ◇合衆国の成立 ◇フランス革命 ◇産業革命 ◇国民国家の成立 ◇アヘン戦争 ◇インド大反乱 ◇太平天国 ◇帝国主義 ◇第一次世界大戦 ◇ロシア革命 ◇三・一独立運動 ◇世界恐慌 ◇ナチ党のドイツ ◇ヒトラー ◇第二次世界大戦 ◇ヨーロッパの戦争 <p>※本文中に太字（ゴシック体）での記載が無いため、単元の標題となっている語句を記載</p>		

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
<p>取り上げられている我が国の歴史に影響を与えた世界の歴史的事象（本文中に太字（ゴシック体）で記載されている事項、人物名等）</p>	近代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ◇第一次世界大戦 ◇総力戦◇ロシア革命 ◇ソビエト社会主義共和国連邦 ◇共産主義 ◇五カ年計画 ◇ベルサイユ条約 ◇民族自決◇国際連盟 ◇ワシントン会議 ◇ワイマール憲法 ◇五・四運動 ◇三・一独立運動 ◇ガンディー ◇世界恐慌 ◇ニューディール ◇ブロック経済 ◇ファシズム ◇ムッソリーニ ◇ヒトラー◇ナチス ◇蒋介石◇毛沢東 ◇独ソ不可侵条約 ◇第二次世界大戦 ◇レジスタンス 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際連盟 ◇ワシントン会議 ◇ワイマール憲法 ◇五・四運動 ◇三・一独立運動 ◇蒋介石◇ガンディー ◇世界恐慌 ◇ニューディール ◇ブロック経済 ◇ファシズム ◇毛沢東 ◇第二次世界大戦 ◇レジスタンス ◇大西洋憲章 	<ul style="list-style-type: none"> ◇第一次世界大戦 ◇総力戦 ◇14か条の平和原則 ◇ロシア革命 ◇レーニン ◇ソビエト政府 ◇ソビエト社会主義共和国連邦 ◇スターリン ◇スターリン体制 ◇ベルサイユ条約 ◇民族自決の原則 ◇ベルサイユ体制 ◇国際連盟 ◇ワシントン会議 ◇ワシントン体制 ◇パリ不戦条約 ◇ロンドン海軍軍縮会議 ◇ガンジー ◇三・一独立運動 ◇五・四運動 ◇ファシズム ◇ファシスト党 ◇ナチス◇世界恐慌 ◇ヒトラー◇蒋介石 ◇国民政府◇人民戦線 ◇独ソ不可侵条約 ◇第二次世界大戦 ◇レジスタンス 	<ul style="list-style-type: none"> ◇三国同盟 ◇ヨーロッパの火薬庫 ◇第一次世界大戦 ◇総力戦◇ロシア革命 ◇民族自決 ◇ソビエト社会主義共和国連邦 ◇ベルサイユ条約 ◇国際連盟 ◇三・一独立運動 ◇五・四運動 ◇ガンディー ◇ワシントン会議 ◇世界恐慌 ◇ニューディール政策 ◇ブロック経済 ◇五カ年計画 ◇ヒトラー ◇ファシズム◇蒋介石 ◇毛沢東 ◇独ソ不可侵条約 ◇第二次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ロシア革命 ◇ソビエト社会主義共和国 ◇ベルサイユ条約 ◇国際連盟◇民族自決 ◇ガンディー ◇三・一独立運動 ◇五・四運動 ◇ワシントン会議 ◇世界恐慌◇ヒトラー ◇ファシズム ◇ニューディール政策 ◇ブロック経済政策 ◇蒋介石◇毛沢東 ◇独ソ不可侵条約 ◇第二次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ニューディール政策 ◇ブロック経済 ◇ロンドン軍縮会議 ◇共産主義◇全体主義 ◇ファシズム ◇スターリン ◇ヒトラー◇ナチス党 ◇蒋介石◇西安事件 ◇第二次世界大戦 ◇南部仏印進駐 ◇大西洋憲章 ◇ハルノート 	<ul style="list-style-type: none"> ◇全体主義 ◇ファシスト党 ◇ナチス ◇ロンドン軍縮会議 ◇第二次世界大戦 	
	現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際連合 ◇冷たい戦争 ◇中華人民共和国 ◇南北問題 ◇アジア・アフリカ会議 ◇ベトナム戦争 ◇石油危機 ◇冷戦の終結 ◇主要国首脳会議 ◇ヨーロッパ連合 ◇アジア太平洋経済協力会議 ◇地域紛争 ◇平和維持活動 ◇グローバル化 ◇地球温暖化 ◇持続可能な社会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際連合 ◇冷たい戦争 ◇中華人民共和国 ◇大韓民国 ◇朝鮮民主主義人民共和国 ◇アジア・アフリカ会議 ◇朝鮮戦争 ◇ベトナム戦争 ◇ヨーロッパ共同体 ◇石油危機 ◇ロシア連邦 ◇ヨーロッパ連合 ◇湾岸戦争 ◇イラク戦争 ◇国連平和維持活動 ◇グローバル化 ◇情報化 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際連合 ◇安全保障理事会 ◇常任理事国 ◇インドシナ戦争 ◇中華人民共和国 ◇大韓民国 ◇朝鮮民主主義人民共和国 ◇北大西洋条約機構 ◇ワルシャワ条約機構 ◇二つの世界 ◇冷たい戦争 ◇朝鮮戦争 ◇ベルリンの壁 ◇キューバ危機 ◇ベトナム戦争 ◇アジア・アフリカ会議 ◇第三世界 ◇文化大革命 ◇中東戦争 ◇石油危機 ◇主要先進国首脳会議 ◇ゴルバチョフ ◇ペレストロイカ ◇グラスノスチ ◇冷戦終結 ◇東欧革命 ◇四つの現代化 ◇天安門事件 ◇インターネット ◇グローバル化 ◇ヨーロッパ連合 ◇A P E C ◇地域紛争◇テロ ◇湾岸戦争 ◇6か国協議 ◇イラク戦争 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際連合 ◇冷たい戦争 ◇中華人民共和国 ◇大韓民国 ◇朝鮮民主主義人民共和国 ◇朝鮮戦争 ◇アジア・アフリカ会議 ◇ベトナム戦争 ◇石油危機 ◇先進国首脳会議 ◇マルタ会談 ◇冷戦の終結 ◇グローバル化 ◇地球温暖化 ◇政府開発援助 ◇非政府組織 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際連合 ◇北大西洋条約機構 ◇ワルシャワ条約機構 ◇冷たい戦争◇毛沢東 ◇中華人民共和国 ◇大韓民国 ◇朝鮮民主主義人民共和国 ◇朝鮮戦争 ◇アジア・アフリカ会議 ◇ベトナム戦争 ◇石油危機 ◇先進国首脳会議 ◇マルタ会談 ◇冷戦の終結 ◇グローバル化 ◇地球温暖化 ◇政府開発援助 ◇非政府組織 	<ul style="list-style-type: none"> ◇マッカーサー ◇国際連合◇毛沢東 ◇中華人民共和国 ◇大韓民国◇朝鮮戦争 ◇ベルリンの壁 ◇ベトナム戦争 ◇湾岸戦争 ◇ニーズ◇アセアン ◇ヨーロッパ連合 ◇主要先進国首脳会議 ◇石油危機 ◇平和維持活動 ◇グローバル化 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際連合 ◇冷たい戦争 ◇中華人民共和国 ◇朝鮮戦争 ◇アジア・アフリカ会議 ◇ベトナム戦争 ◇湾岸戦争 ◇平和維持活動 ◇主要国首脳会議 ◇ヨーロッパ連合 ◇グローバル化 ◇地球温暖化 	<ul style="list-style-type: none"> ◇朝鮮戦争◇冷戦 ◇中東戦争 ◇冷戦の終結と新たな戦争 ◇持続可能な未来 ◇グローバル化 <p>※本文中に太字（ゴシック体）での記載が無い ため、単元の標題となっている語句を記載</p>

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水
近代以降の「日本の領域」の取扱い	領域を示した地図、図表、写真等の内容	◇樺太・千島交換条約 (P168) ◇歴史にアクセス (P252)	◇日本の外交と領土の歩み (P165) ◇現在に残された課題 (P257)
「北方領土」に関する記載のある単元	◇国境と領土の確定 (P168) ◇占領下の日本 (P242) ◇緊張緩和と日本外交 (p250) ◇歴史にアクセス「日本の領土をめぐる問題とその歴史」 (P253)	◇智識を世界に求めて (p165) ◇独立から復興へ (P244) ◇世界から歴史を探ろう③ 隣国と向き合うために (P257)	◇領土の確定と北海道・沖縄 (P178) ◇国際社会への復帰 (P255)
「竹島」に関する記載のある単元	◇国境と領土の確定 (P168) ◇緊張緩和と日本外交 (p251) ◇歴史にアクセス「日本の領土をめぐる問題とその歴史」 (P252)	◇智識を世界に求めて (p165) ◇世界から歴史を探ろう③ 隣国と向き合うために (P257)	◇領土の確定と北海道・沖縄 (P178)
「尖閣諸島」に関する記載のある単元	◇国境と領土の確定 (P168) ◇歴史にアクセス「日本の領土をめぐる問題とその歴史」 (P253)	◇智識を世界に求めて (p165) ◇世界から歴史を探ろう③ 隣国と向き合うために (P257)	◇領土の確定と北海道・沖縄 (P178)

46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
◇明治初期の日本の国境と外交 (P167) ◇軍人と民間人の引き上げ数 (P239) ◇日本の戦後国境 (P245) ◇歴史を探ろう 日本の領土と近隣諸国 (P246)	◇明治初期の外交と国境の画定 (P176) ◇占領地の日本復帰と近隣諸国との関係 (P265)	◇近隣諸国との国境画定 (P172) ◇樺太・千島交換条約 (P172)	◇樺太・千島をめぐる国境の画定 (P172) ◇近隣諸国と国境画定 (P173) ◇戦争の終結 (P241)	◇日本の領土画定と外交 (P189)
◇新たな外交と国境の画定 (P167) ◇日本の独立と世界の動き (P244) ◇歴史を探ろう 日本の領土と近隣諸国 (P246)	◇領土の画定と隣接地形 (P176) ◇国際社会への復帰 (P259)	◇近隣諸国との国境画定 (P172) ◇独立の回復と米ソ冷戦 (P258)	◇歴史ビュー わが国固有の領土である国境の島々 (P173) ◇日本の現状とこれから (P273)	◇インドも中国も来なかったー日本の独立ー (P267)
◇新たな外交と国境の画定 (P167) ◇歴史を探ろう 日本の領土と近隣諸国 (P247)	◇領土の画定と隣接地形 (P176) ◇日本をとりまく国際関係 (P265)	◇21世紀の日本の進路 (P272)	◇歴史ビュー わが国固有の領土である国境の島々 (P173) ◇日本の現状とこれから (P273)	◇戦場は中国だったー日露戦争ー (P199)
◇新たな外交と国境の画定 (P168) ◇歴史を探ろう 日本の領土と近隣諸国 (P247)	◇領土の画定と隣接地形 (P176) ◇日本をとりまく国際関係 (P265)	◇21世紀の日本の進路 (P272)	◇歴史ビュー わが国固有の領土である国境の島々 (P173) ◇日本の現状とこれから (P273)	◇日本と清が、朝鮮でー日清戦争ー (P195)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

別表2

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
小学校での既習事項と関連付けたページの有無と内容		◇第1章「歴史の流れ」で、小学校での既習人物・事柄について年代順にイラストでまとめている。また、イラストを基にしたまとめ方を提示している。 ◇単元の初めに小学校での既習事項を年表にまとめている。 ◇単元の初めに小学校での既習事項に関する資料を年代別に並べ整理している。	◇第1章「歴史の移り変わりを考えよう」で、小学校での既習人物・建造物の整理ができるように質問形式でまとめている。人物カードを使ったまとめ方を提示している。 ◇小学校の教科書に登場した人物にマークを付け、分かるようにしている。	◇序章「キャッチコピーづくりをはじめよう」で、小学校での既習人物・事項を時代ごとにまとめ、それぞれの時代の特色が分かるようにしている。 ◇巻末の「人名さくいん」で、小学校で学習した主な人物には、イラストを付けている。	◇第1部「歴史のとらえ方と調べ方」で小学校での既習人物・事柄について年代順にイラスト、年表でまとめている。 ◇「タイムトラベル」のページの右上に「小学校で学んだおもしろなこと」をまとめている。 ◇巻末の「人物さくいん」の中で、小学校で学習した人物には下線を引いている。	◇第1編「歴史のとらえ方」で小学校での既習人物・事柄について年代順にイラスト、写真資料でまとめている。それらを基にしたまとめ方を提示している。 ◇単元の初めに掲載されている年表に「小学校で学んだ主な人物など」を明示している。 ◇小学校との学習のつながりを本文左下に提示している。	◇序章「歴史のとらえ方」で、小学校での既習人物を挙げ、人物カードを使ったまとめ方を提示している。	◇序章の「歴史人物Q&Aカードをつくらう」で、小学校での既習人物を挙げ、時代区分ごとにまとめる方法やQ&Aカードを使ったまとめ方を提示している。 ◇単元の初めに「歴史絵巻」があり、小学校での既習人物・出来事について年代順にイラストでまとめている。 ◇巻末の「人名さくいん」で、小学校で学習した人物にマークを付け、分かるようにしている。	◇「歴史への案内」で、小学校での既習人物・出来事を挙げ、年表やカードを使ったまとめ方を提示している。
「復習コーナー」等、基礎的・基本的な内容を習得するためのページの数と内容		◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」で、図表や地図等を用いて、時代のまとめを行っている。(計6ページ) ◇「歴史スキル・アップ」で、基礎的・基本的な技能を習得できるようにしている。(計6ページ)	◇「学習のまとめと表現」で、年表、地図、資料等を用いて、時代のまとめを行っている。(計14ページ)	◇「まとめてみよう」で、年表を用いて、時代のまとめを行っている。(計6ページ)	◇「特色を説明しよう」で、年表、地図、資料等を用いて、時代のまとめを行っている。(計12ページ)	◇「学習の活用」で、年表や地図を用いて、時代のまとめを行っている。(計6ページ)	◇「まとめ」のページで、二人の人物の会話形式でその時代のまとめを行っている。(計6ページ) ◇「歴史豆辞典」で、重要語句の100字用語解説を記載している。(計12ページ)	◇「学習のまとめ」で、年表、地図、資料等を用いて、時代のまとめを行っている。(計12ページ)	◇「ふりかえる」のコーナーで、文章でその時代のまとめを行っている。 ◇「学習のまとめ」で、年表、地図を用いて、時代のまとめを行っている。(計8ページ)
各時代の学習を動機付けるための工夫	古代までの日本	◇「平城宮跡の大極殿」の写真と小学校での既習事項をまとめた年表を載せている。(1ページ) ◇「古代までの日本」の主な出来事が分かるように、資料や吹き出し付の人物を年代順に並べ、その時代の特色を整理している。(2ページ)	◇「吉野ヶ里遺跡、主祭殿の建物の内部」の写真とその時代の日本・中国・朝鮮の細かい時代区分を示した年表を載せている。(1ページ)	◇「東大寺大仏」「法隆寺」「森將軍塚古墳」の写真、「藤原道長」の絵を載せ、時代の特色について、問題提起している。(1ページ)	◇「タイムトラベル①②」で、縄文時代と弥生時代の集落の様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ) ◇「タイムトラベル③」で、奈良時代の東海地方の建物建設の様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ)	◇「現在のアフリカの類人猿」の写真と「200万年前の猿人」の想像図を載せ、比較している。(2ページ) ◇「人類の広がり」を示した資料付きの歴史地図と主な出来事、小学校で学んだ主な人物などをまとめた年表を載せている。(2ページ)	◇「奈良時代の平城宮の跡」「復元された大極殿」の写真、「平城京と唐の長安」の図を載せている。(1ページ)	◇「縄文時代の丸木舟」の写真と説明を載せている。(1ページ) ◇原始・古代の「歴史絵巻」のページを設け、主な出来事や人物のイラストを年代順に並べ、整理している。(2ページ) ◇「『駒競行幸絵巻』にえがかれた貴族の屋敷の絵」を載せ、貴族の生活の様子を示している。(2ページ)	◇「動物とともに生きる」と題し、古代の人々と動物とのつながりを写真と地図で示している。(2ページ) ◇「宗教の広がり」と題し、世界に広がる宗教を写真と地図で示している。(2ページ)
	中世の日本	◇「武士の合戦のようす」を描いた『平治物語絵巻』の絵と小学校での既習事項をまとめた年表を載せている。(1ページ) ◇「中世の日本」の主な出来事が分かるように、資料や吹き出し付の人物を年代順に並べ、その時代の特色を整理している。(2ページ)	◇「壇ノ浦の戦い」を描いた『平家物語絵巻』の絵とその時代の日本・中国・朝鮮の細かい時代区分を示した年表を載せている。(1ページ)	◇「東大寺南大門」「平清盛像」「金閣」の写真、「蒙古襲来絵詞」「足利義満」の絵を載せ、時代の特色について、問題提起している。(1ページ)	◇「タイムトラベル④」で、鎌倉時代の西国の農村の様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ) ◇「タイムトラベル⑤」で、室町時代の港町の様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ)	◇「平安時代の上皇の御所」を描いた『年中行事絵巻』、「鎌倉時代の武士の館」を描いた『一遍上人絵伝』、現在の「流鏝馬」の写真を載せ、古代と中世を比較している。(2ページ) ◇「モンゴル帝国が栄えた頃の世界」を示す資料付の歴史地図と主な出来事、小学校で学んだ主な人物などをまとめた年表を載せている。(2ページ)	◇「蒙古襲来絵詞」、「石塁（復元）」の写真を載せている。(1ページ)	◇「遣明船」の絵と説明を載せている。(1ページ) ◇中世の「歴史絵巻」のページを設け、主な出来事や人物のイラストを年代順に並べ、整理している。(2ページ) ◇「『一遍上人絵伝』にえがかれた武士の館の絵」を載せ、武士の生活の様子を示している。(2ページ)	◇「世界を結ぶ交通手段」と題し、世界を結んで交通手段を写真や絵と地図で示している。(2ページ)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
各時代の学習を動機付けするための工夫	近世の日本	◇「江戸時代の日本橋」を描いた『熙代勝覧(きだいしょうらん)』の絵と小学校での既習事項をまとめた年表を載せている。(1ページ) ◇「近世の日本」の主な出来事が分かるように、資料や吹き出し付の人物を年代順に並べ、その時代の特色を整理している。(2ページ)	◇「葛飾北斎の風景画」として『富嶽三十六景』の浮世絵、「丁銀と慶長小判、寛永通宝」それぞれの写真、その時代の日本・中国・朝鮮の細かい時代区分を示した年表を載せている。(1ページ)	◇「長篠の戦」「織田信長」「検地」「豊臣秀吉」「日本橋」「出島」の絵を載せ、時代の特色について、問題提起している。(1ページ)	◇「タイムトラベル⑥」で、安土桃山時代のまちづくりの様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ) ◇「タイムトラベル⑦」で、江戸時代の西日本の街道沿いの農村の様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ)	◇「16世紀前半の京都のようす」を描いた『洛中洛外屏風』、「17世紀前半の江戸のようす」を描いた『江戸図屏風』、「徳川家の葵紋の入った陣笠」の写真を載せ、中世と近世の比較を行っている。(2ページ) ◇「大航海時代の世界」を示した資料付きの歴史地図と主な出来事、小学校で学んだ主な人物などをまとめた年表を載せている。(2ページ)	◇浮世絵を3点、浮世絵を描いたゴッホの『ダンキー爺さん』の絵を載せている。(1ページ)	◇「朱印船」の絵と説明を載せている。(1ページ) ◇近世の「歴史絵巻」のページを設け、主な出来事や人物のイラストを年代順に並べ、整理している。(2ページ) ◇「『江戸図屏風』にえがかれた江戸のにぎわいの絵」を載せ、町人の生活の様子を示している。(2ページ)	◇「海でつながる世界」と題し、世界をつないだ交易や人の移動を写真や絵と地図で示している。(2ページ) ◇「世界遺産に見る世界」と題し、世界の帝国がつくった大建築を写真と地図で示している。(2ページ)
	近代の日本と世界	◇「ペリー上陸」の絵と小学校での既習事項をまとめた年表を載せている。(1ページ) ◇「開国と近代日本の歩み」の主な出来事が分かるように、資料や吹き出し付の人物を年代順に並べ、その時代の特色を整理している。(2ページ) ◇「原子爆弾の投下で廃きよになった広島」の写真と小学校での既習事項をまとめた年表を載せている。(1ページ) ◇「二度の世界大戦と日本」の主な出来事が分かるように、写真や吹き出し付の人物を年代順に並べ、その時代の特色を整理している。(2ページ)	◇「江戸湾に現れた軍艦」の絵とその時代の日本・中国・朝鮮の細かい時代区分を示した年表を載せている。(1ページ) ◇「内国勸業博覧会の機械館」を描いた絵とその時代の日本・中国・朝鮮の細かい時代区分を示した年表を載せている。(1ページ) ◇「連合軍とドイツ軍の戦い」を描いた絵とその時代の日本・中国・朝鮮の細かい時代区分を示した年表を載せている。(1ページ)	◇「19世紀の蒸気機関車」「新橋駅と蒸気機関車」「井伊直弼」「憲法発布式典」「日本海海戦」の絵と「岩倉使節団」の写真を載せ、時代の特色について、問題提起している。(1ページ) ◇「原爆ドーム周辺の被爆」「被爆前後の原爆ドーム」「浦上天主堂周辺の被爆」「被爆前後の浦上天主堂」の写真を載せ、時代の特色について、問題提起している。(2ページ)	◇「タイムトラベル⑧」で、明治時代の地方都市様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ) ◇「タイムトラベル⑨」で、大正～昭和初期の昭和初期の地方都市様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ)	◇「江戸城に入る天皇」の絵、「解体された小田原城天守」の写真、「富岡製糸場」の絵、「江戸幕府と明治政府の歳出の比較」のグラフを載せ、時代の変化を示している。(2ページ) ◇「欧米諸国のアジア進出」を示した資料付の歴史地図と主な出来事、小学校で学んだ主な人物などをまとめた年表を載せている。(2ページ) ◇1934年から1945年まで家族写真を載せ、生活の変化を比較している。(2ページ) ◇「強国同士の対立」を示した資料付の歴史地図と主な出来事、小学校で学んだ主な人物などをまとめた年表を載せている。(2ページ)	◇「久松五勇士記念碑」の写真と「石碑の絵を拡大した絵」を載せている。(1ページ) ◇「原爆ドーム」「真珠湾攻撃」の写真を載せている。(2ページ)	◇「威臨丸」の絵と説明を載せている。(1ページ) ◇近代の「歴史絵巻」のページを設け、ペリー来航から韓国併合までの主な出来事や人物のイラストを年代順に並べ、整理している。(2ページ) ◇「『東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉瓦石商家盛栄之図』にえがかれた東京・銀座のにぎわいの絵」を載せ、文明開化の様子を示している。(2ページ) ◇「装備を取り付けている戦艦大和」の写真と説明を載せている。(1ページ) ◇近代の「歴史絵巻」のページを設け、第一次世界大戦から終戦までの主な出来事や人物のイラストを年代順に並べ、整理している。(2ページ) ◇「『東京名所東京停車場之図』にえがかれた東京駅」の絵、当時の家の中の写真を載せ、この時代の文化の特色を示している。(2ページ)	◇「万国博覧会に見る世界」と題し、欧米諸国で開かれた万国博覧会の様子を絵と地図で示している。(2ページ) ◇「岩倉使節団が見た世界」と題し、岩倉使節団の訪問先を絵と地図で示している。(2ページ) ◇「変わる世界の女性たち」と題し、世界大戦の中で変わった女性のような写真を写真や絵と地図で示している。(2ページ) ◇「大戦の終わりを迎えた世界」と題し、大戦終結時の民衆の様子を写真と地図で示している。(2ページ)
	現代の日本と世界	◇「新幹線と高速道路」の写真と小学校での既習事項をまとめた年表を載せている。(1ページ) ◇「現代の日本と世界」の主な出来事が分かるように、写真や吹き出し付の人物を年代順に並べ、その時代の特色を整理している。(2ページ)	◇「青空教室で学ぶ子どもたち」の写真とその時代の日本・中国・朝鮮の細かい時代区分を示した年表を載せている。(1ページ)	◇「焼けあとでの青空教室」「ぎっしりつまった102名学級」「少人数授業をおこなう小学校」「東京タワーとその周辺の変化」の写真を載せ、時代の特色について、問題提起している。(1ページ)	◇「タイムトラベル⑩」で、高度経済成長期の新幹線が開通した東海地方の町の様子を描いたイラストを載せ、時代の特色を示している。(2ページ)	◇「戦中と戦後の子どもたち」「敗戦直後と現在の国会議事堂とその周辺」「国立競技場」の写真を載せ、時代の比較を行っている。(2ページ) ◇「第二次世界大戦後の世界のようす」を示した資料付の歴史地図と主な出来事、小学校で学んだ主な人物などをまとめた年表を載せている。(2ページ)	◇1945年、1958年、2012年の東京の写真を載せている。(1ページ)	◇「世界一のタンカー・日章丸(3世)」の写真と説明を載せている。(1ページ) ◇現代の「歴史絵巻」のページを設け、主な出来事や人物のイラストを年代順に並べ、整理している。(2ページ) ◇満州特急「アジア号」の写真・想定路線図や新幹線の写真等の資料を載せ、新幹線の歴史をまとめている。(2ページ)	◇「今、世界の子どもたちは」と題し、夢を語る世界の子どもたちを写真や文と地図で示している。(2ページ)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水
時代の区分やその移り変わりに気付く学習をするための工夫	<p>【第1章 歴史の流れをとらえよう】</p> <p>◇「歴史の流れ」で、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事等のイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。</p> <p>◇小学校で学習した人物42名、文化財15点を挙げ、歴史の流れを自分で整理するページを設けている。</p>	<p>【第1章 歴史の移り変わりを考えよう】</p> <p>◇「タイムトラベル・サミット2016」で、小学校で学習した人物や文化財を時代別に自分で整理できるようにしている。</p> <p>・小学校で学習した人物42名、文化財12点</p>	<p>【序章】</p> <p>◇「キャッチコピーづくりをはじめよう」で、小学校で学習した主な人物、文化財等を時代別にまとめ、それぞれの時代の特色をとらえ、キャッチコピーを考えるページを設けている。</p> <p>・小学校で学習した人物8名、文化財・出来事等16点</p>
	<p>◇「歴史スキル・アップ1:時代や年代を読み取ろう」で、時代区分・年代のあらわし方について整理している。</p>	<p>◇「時代の分け方・年表の見方」で、年表を用い、時代区分や年代のあらわし方について整理している。</p>	<p>◇「歴史の流れを知ろう」で、時代区分や年代のあらわし方について説明している。</p>

46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
<p>【第1章 歴史の流れと時代区分】</p> <p>◇「江戸時代の絵巻物にえがかれた日本橋の風景」と「大正時代の絵はがきになった日本橋の風景」を載せ、2つの時代を比較している。</p> <p>◇「歴史をたどろう」のページを設け、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事等のイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。</p> <p>◇年表と共に小学校で学習した人物35名のイラストを載せている。</p>	<p>【第1章 歴史のとらえ方】</p> <p>◇「歴史の流れを振り返ろう」で、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事等のイラストや写真を時代ごとに並べ、歴史の流れを整理している。</p> <p>・小学校で学習した人物22名、文化財・出来事39点</p> <p>◇小学校で学んだ人物や文化財、出来事の中から時代を代表するものを選んでまとめ、発表するページを設けている。</p>	<p>【序章 歴史のとらえ方】</p> <p>◇「広開土王碑」を取り上げ、年代のあらわし方についての動機付けを行っている。</p> <p>◇「人物を通して時代をとらえる」で、小学校で学習した人物42名を挙げ、人物カードの作り方を示し、人物を通して時代をとらえる視点を紹介している。</p>	<p>【序章】</p> <p>◇「歴史人物Q&Aカードをつくろう」という課題学習を設定し、小学校で学習した人物20名を挙げ、時代区分ごとに人物を整理し、Q&Aカードを作成するページを設けている。</p>	<p>【歴史への案内】</p> <p>◇「歴史を楽しく学ぼう」で、小学校で学習した人物3名、文化財2点、事柄2点を挙げ、年表やカードの作り方を示している。</p>
<p>◇「時代の移り変わり」と時代区分」で、時代区分や年代のあらわし方について説明している。</p>	<p>◇「歴史学習の基礎資料」で、時代区分や年代のあらわし方について整理している。</p>	<p>◇「年代のあらわし方と時代区分」で、時代区分や年代のあらわし方について、詳しく説明している。</p>	<p>◇「年代や時代区分の表し方」で、時代区分や年代のあらわし方について整理している。</p>	<p>◇「年代のあらわし方、時代の区切り方」で、時代区分や年代のあらわし方について整理している。</p>

別表3

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
言語活動を充実させるための工夫		<p>◇各見開きの「確認」で学習内容を語句指定や字数制限により説明・要約する課題を設定している。</p> <p>◇「この時代の特色をとらえよう」で各時代の特色をまとめる例を5つの方法で具体的に示し、自分の言葉でまとめる課題を設定している。</p> <p>◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」で各時代の特色や変化について考え説明する課題を設定している。</p> <p>◇「私たち歴史探検隊」「調査の達人」で調べ学習の考察やまとめと発表のポイントを具体的に示している。</p>	<p>◇各見開きの「ふりかえる」のステップ1で基礎的事項の確認を整理、ステップ2で学習内容を活用して説明する課題を設定している。</p> <p>◇「学習のまとめと表現」で各時代のできごとや動きについて自分の言葉で説明する課題を設定している。</p> <p>◇「時代の変化に注目しよう！」で時代の変化をとらえる発問があり、それをもとに考え話し合う課題を設定している。</p> <p>◇「読み解こう」の一部に歴史的事象について話し合うための課題を設定している。</p>	<p>◇各見開きの「まとめてみよう」で学習内容を文章でまとめた課題を設定している。</p> <p>◇各章末の「まとめてみよう」で各時代の特色を指定された語句を使って自分の言葉で説明する課題を設定している。</p>	<p>◇各見開きの「確認しよう」で基礎的な知識の確認、「説明しよう」で学習内容を活用して説明する課題を設定している。</p> <p>◇各章末の「学習をふりかえろう」で各時代の変化や特色について説明したり話し合う課題を設定している。</p> <p>◇「技能をみがく」でレポートのまとめ方や発表の仕方について例示している。</p>	<p>◇各見開きの「学習の確認」で学習内容を整理する課題を設けている。</p> <p>◇「学習の活用」では学習内容を活用して自分の言葉で説明する課題を設定している。</p> <p>◇これらの課題に役立つキーワードを明示している。</p> <p>◇「言語活動コーナー」を設けて、読み取る・考える・伝えるための活動を示している。</p> <p>◇「とらえよう時代の転換」で各時代の転換について読み取り、考え、説明する課題を設定している。</p> <p>◇各章末の「学習の活用」では、各時代の特色について考え、自分の言葉で説明する課題を設定している。</p>	<p>◇各見開きの「まとめてみよう」で学習内容を整理する課題を設定している。</p> <p>◇各章末のまとめで各時代の特色を200字程度で作文する課題や各時代のことから意見交換するための課題を設けている。</p>	<p>◇各見開きの「学習のまとめ」で学習内容を使ってまとめたり説明したりする課題を設定している。</p> <p>◇各章末の「学習のまとめ」でその時代の人物、変化や特色を自分の言葉で説明したり、話し合ったりする課題を設定している。</p> <p>◇巻末の「歴史学習のまとめ」では、各時代の歴史を大観してまとめる課題を設定している。</p>	<p>◇各部の「学習のまとめ」でその時代の特色を自分の言葉で表現したり、発表や意見交換するための課題を設定している。</p> <p>◇「歴史を体験する」で年表やポスターにまとめ方の例を示している。</p>
歴史的事象を多面的、多角的に考察するための工夫		<p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇一部「えんぴつマーク」「ためしてみよう」で考察の具体的な視点を示している。</p> <p>◇「深めよう」で各時代の背景をとらえるための出来事などを紹介している。</p> <p>◇P14で調べ学習での考察のポイントを例示している。</p>	<p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇「読み解こう」で考えを深める手がかりを示している。</p> <p>◇「学習のまとめと表現」では、各時代の特色を考察するための視点やまとめ方を幾つか示している。</p> <p>◇特設ページ「歴史を探ろう」で各時代を掘り下げる内容を紹介している。</p>	<p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇図版などを読み取るための視点を示している。</p> <p>◇「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」で各時代の考察を深める事例を紹介している。</p>	<p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇各部の始めの「タイムトラベル」で各時代の考察を進める上での視点を示している。</p> <p>◇「歴史を探ろう」「トライアル歴史」では学習したことをさらに深めるためのテーマを設定している。</p>	<p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇「考えよう」で考察の具体的な視点を示している。</p> <p>◇「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」「歴史図版特集」では歴史の学習を幅広く豊かにするテーマを設定している。</p> <p>◇コラムを設定し、各時代を掘り下げる内容を紹介している。</p>	<p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇「このころ世界は」「歴史ズームイン」では時代の背景や歴史の学習を幅広く豊かにするテーマを取り上げている。</p>	<p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇「歴史を体験する」などで考察を進める上での視点を幾つか示している。</p>	
<p>各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できるように例示されている事項</p>	<p>古代までの日本</p>	<p>◇「この時代の特色をとらえよう」(P61)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物と連想できる事柄をつなげてまとめよう。 <p>◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」(P62)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代の文化にはどのような特徴があるのか、時代の流れの順に説明しましょう。 	<p>◇「学習のまとめと表現」(P50～52)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原始・古代の時代の移り変わりを確かめよう。 ・原始・古代の舞台を地図で確かめよう。 ・原始・古代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう。 ・原始・古代の時代の特色を考えよう！ ・時代の変化に注目しよう！ 	<p>◇章頭「原始・古代ってどんな時代？」(P5)</p> <p>◇「原始・古代の日本と世界」をまとめてみよう(P56)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、古代の政治や文化の特色について考えてみよう。 	<p>◇「学習をふりかえろう」原始・古代の特色を説明しよう(P48～49)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復元された人物模様の服装の変化を説明してみよう。 ・古代で最も重要な人物はどれかを話し合ってみよう。 ・原始あるいは古代の特色を説明してみよう。 	<p>◇章頭「古代までの日本」の特色を探っていこう(P14～15)</p> <p>◇とらえよう！「古代までの日本」の動き(P56～57)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の変化に着目して、時代の特色にせまろう。 ・私が考える「古代までの日本」の特色 	<p>◇章のまとめ「古代とはどんな時代か」(P79)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代比較 ・人物比較 ・ひとこと作文 ・意見交換会 	<p>◇学習のまとめ「原始古代の時代をふり返って考えてみよう」(P62～63)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったかといえるのかを考え、その理由と合わせて書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみよう。 	<p>◇学習のまとめ「原始古代」(P54～55)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習をふりかえり、印象に残ったことを自分の言葉で書きましょう。時代の特色となることを考えてみましょう。

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる（表現する）ように例示されている事項	中世の日本	◇「この時代の特色をとらえよう」(P95)比較表でまとめよう ◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」(P96) ・中世の政治を動かしたのはどのような人々か、説明しましょう。	◇「学習のまとめと表現」(P84～86) ・中世の時代の移り変わりを確かめよう。 ・中世の舞台を地図で確かめよう。 ・中世のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう。 ・中世の時代の特色を考えよう！ ・時代の変化に注目しよう！	◇章頭「中世ってどんな時代？」(P5) ◇「中世の日本と世界」をまとめてみよう(P88) ・写真を見て、中世の政治や文化の特色について考えてみよう。	◇「学習をふりかえろう」中世の特色を説明しよう(P84～85) ・絵巻物にえがかれた貴族と武士の関係の変化を説明してみよう。 ・中世で最も重要なできごとは何かを話し合い、新聞記事をつくってみよう。 ・中世の特色を説明してみよう。	◇章頭「中世の日本」の特色を探っていこう(P58～59) 古代と中世の絵を見比べよう ◇「とらえよう！時代の転換」(P66～67) ・私が考える古代から中世への時代の転換 ◇とらえよう！「中世の日本」の動き(P94～95) ・法に着目して、時代の特色にせまろう。 ・私が考える「中世までの日本」の特色	◇章のまとめ「中世とはどんな時代か」(P107) ・時代比較 ・人物比較 ・ひとこと作文 ・意見交換会	◇学習のまとめ「中世の時代をふり返って考えてみよう」(P94～95) ・学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったかといえるのかを考え、その理由と合わせて書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみよう。	◇学習のまとめ「中世」(P86～87) ・中世は、どのような人たちが力もち、どのような特色のある時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら、自分の言葉で書きましょう。
	近世の日本	◇「この時代の特色をとらえよう」(P139)ディスカッションでまとめよう ◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」(P140) ・貨幣経済の広がり、貧富の差の拡大、百姓一揆・打ちこわしなどが見られるようになった後、政治ではどのような動きが起こっていたのかぬき出しましょう。	◇「学習のまとめと表現」(P128～130) ・近世の時代の移り変わりを確かめよう。 ・近世の舞台を地図で確かめよう。 ・近世のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう。 ・近世の時代の特色を考えよう！ ・時代の変化に注目しよう！	◇章頭「近世ってどんな時代？」(P89) ◇「近世の日本と世界」をまとめてみよう(P144) ・写真を見て、近世の政治や文化の特色について考えてみよう。	◇「学習をふりかえろう」近世の特色を説明しよう(P136～137) ・絵巻物にえがかれた武士の役割の変化を説明してみよう。 ・江戸幕府による支配は、なぜ約260年間も続いたのかを話し合ってみよう。 ・近世の特色を説明してみよう。	◇章頭「近世の日本」の特色を探っていこう(P96～97) ◇とらえよう！「近世の日本」の特色(P144～145) ・幕府の収入に着目して、時代の特色にせまろう。 ・私が考える「近世の日本」の特色	◇章のまとめ「近世とはどんな時代か」(P151) ・時代比較 ・人物比較 ・ひとこと作文 ・意見交換会	◇学習のまとめ「近世の時代をふり返って考えてみよう」(P148～149) ・学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったかといえるのかを考え、その理由と合わせて書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみよう。	◇学習のまとめ「近世」(P142～143) ・時代の変化について考え、発表しましょう。 ・近世は、どのような特色をもった時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら、自分の考えを書きましよう。
	近代の日本と世界	◇「この時代の特色をとらえよう」(P193)歴史新聞でまとめよう ◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」(P194) ◇「この時代の特色をとらえよう」(P237)年表でまとめよう ◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」(P238) ・年表の欧米などの欄から日本と関係する事柄をぬき出し、時代の流れについて気づいたことを説明しましょう。	◇「学習のまとめと表現」(P152～154)(P190～193) ・近代の幕開け(近代)の時代の移り変わりを確かめよう。 ・近代の幕開け(近代)の時代の舞台を地図で確かめよう。 ・近代の幕開け(近代)の時代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう。 ・近代の幕開け(近代)の時代の特色を考えよう！ ・時代の変化に注目しよう！ ◇「学習のまとめと表現」(P232～134) ・大戦期の時代の移り変わりを確かめよう。 ・大戦期の時代の舞台を地図で確かめよう。 ・大戦期の時代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう。 ・大戦期の時代の特色を考えよう！ ・時代の変化に注目しよう！	◇章頭「近代ってどんな時代？」(P145) ◇「近代化の進む世界」をまとめてみよう(P206) ・近代社会の特徴について、江戸時代と比べて説明しよう。 ◇章頭「二つの世界大戦がおきたのはどんな時代？」(P207) ◇「二つの世界大戦と日本」をまとめてみよう(P246) ・学習内容をもう一度ふり返ってみよう。	◇「学習をふりかえろう」近代(前半)の特色を説明しよう(P192～193) ・絵画にえがかれた政治体制の変化を説明してみよう。 ・近代(前半)で最も活躍したと思う人物はだれかを話し合い、その人物に手紙を書いてみましょう。 ・近代(前半)の特色を説明してみよう。 ◇「学習をふりかえろう」近代(後半)の特色を説明しよう(P234～235) ・グラフに示された軍事費の割合の変化を説明してみよう。 ・日本は、なぜ戦争へつき進んでいったのかを話し合ってみよう。 ・近代(後半)の特色を説明してみよう。	◇章頭「日本の近代化」の特色を探っていこう。(P146～147) ◇「とらえよう！時代の転換」(P174～175) ・学校の始まりから、近世から近代への転換を考えてみよう。 ◇とらえよう！「日本の近代化」の特色(P202～203) ・明治政府の政策から、時代の特色にせまろう。 ・私が考える「日本の近代化」の特色 ◇章頭「二度の世界大戦と日本」の特色を探っていこう(P204～205) ◇とらえよう！「二度の世界大戦と日本」の特色(P242～243) ・戦争に着目して、時代の特色にせまろう。 ・私が考える「二度の世界大戦と日本」の特色	◇章のまとめ「近代Iとはどんな時代か」(P209) ・時代比較 ・人物比較 ・ひとこと作文 ・意見交換会 ◇章のまとめ「近代IIとはどんな時代か」(P249) ・時代比較 ・人物比較 ・ひとこと作文 ・意見交換会	◇学習のまとめ「近代①の時代をふり返って考えてみよう」(P202～203) ◇学習のまとめ「近代②の時代をふり返って考えてみよう」(P246～247) ・学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったかといえるのかを考え、その理由と合わせて書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみよう。	◇学習のまとめ「近代」(P190～191) ・時代の変化について考え、発表しましょう。 ・近代は、どのような特色をもった時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら、自分の考えを書きましよう。 ◇学習のまとめ「二つの世界大戦」(P254～255) ・二つの世界大戦を学習し、印象に残ったできごとについて、400字程度でまとめ、自分の感じたこと、もっと調べてみたいことなどを書きましよう。班やクラスで意見交換しましょう。

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目		2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる (表現する) ように例示されている事項	現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ◇「この時代の歴史の学習を確認しよう」(P274) 年表の政治の欄から外国と関係する事柄をぬき出し、時代の流れについて気づいたことを説明しましょう。 ◇「この時代の特色をとらえよう」(P275) プレゼンテーション・ソフトを使って日本の歴史をまとめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「学習のまとめと表現」(P264～266) ・現代の時代の移り変わりを確かめよう。 ・現代の時代の舞台を地図で確かめよう。 ・現代の時代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう。 ・時代の変化に注目しよう！ ・現代の時代の特色とこれからの時代について考えよう！ ◇「学習のまとめと表現」(P190～193) ・近代の時代の移り変わりを確かめよう。 ・近代の時代の舞台を地図で確かめよう。 ・近代の時代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう。 ・近代の時代の特色を考えよう！ ・時代の変化に注目しよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇章頭「現代の世界と日本はどのように変化しているのだろうか？」(P247) ◇「現代の日本と世界」をまとめてみよう ・学習内容をもう一度ふり返ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「学習をふりかえろう」近代(前半)の特色を説明しよう(P192～193) ・表にまとめられた憲法の変化を説明してみましょう。 ・現代の中で、50年後の未来に最も伝えたいできごととは何かを話し合い、タイムカプセルをつくってみましょう。 ・現代の特色を説明してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇章頭「現代の日本と世界」の特色を探っていこう(P244～245) ◇「とらえよう！時代の転換」(P254～255) ・戦後の教育制度の改革から、近代から現代への転換を考えてみよう。 ◇とらえよう！「現代の日本と世界」の特色(P278～279) ・復興と成長の源に着目して、時代の特色にせまろう。 ・私が考える「これからきずいていきたい時代」 	<ul style="list-style-type: none"> ◇章のまとめ「現代とはどんな時代か」(P277) ・時代比較 ・人物比較 ・ひとこと作文 ・意見交換会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習のまとめ「現代の時代をふり返って考えてみよう」(P274～275) ・学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったかといえるのかを考え、その理由と合わせて書いてみましょう。 また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習のまとめ「現代」(P292～293) ・第二次世界大戦後の諸改革によって、どのように政治や社会が変化したか、前の時代と比べながら、自分の考えを書いてみましょう。 ・日本と世界はどんな課題をかかえているのでしょうか。学習したことを現在とつなげて考え、意見交換をしましょう。
	新聞を活用している事項の数とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 歴史新聞：1箇所 ◇「歴史新聞」でまとめよう 新聞の書き方と記事例を紹介(P193) 新聞記事：5箇所 ◇米騒動を伝える新聞(P207) ◇国際連盟脱退を伝える新聞(P207) ◇五・一五事件を報じる新聞(P207) ◇真珠湾攻撃を伝えるハワイの新聞(P225) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞(P225) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史新聞：1箇所 ◇学習のまとめと表現 歴史新聞によるまとめ方と記事例を紹介(P52) 新聞記事：9箇所 ◇五・四運動を報じる新聞記事(P203) ◇米騒動を報じる新聞(P205) ◇張作霖の列車の爆破事件を報じる新聞(P215) ◇満州事変を報じる新聞(P216) ◇国際連盟総会での勧告の可決を報じる新聞(P217) ◇五・一五事件を報じる新聞(P218) ◇日米の開戦を報じる新聞(P224) ◇ミッドウェー海戦を報じる新聞(P226) ◇警察予備隊の新設を報じる新聞(P243) 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事：4箇所 ◇米騒動を報じる新聞(P217) ◇国際連盟からの日本の退場を報道する新聞(P230) ◇五・一五事件を報道する新聞(P231) ◇日米開戦を報道する新聞(P237) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史新聞：1箇所 ◇学習を振り返ろう「新聞記事」をつくってみましょう 新聞記事にする流れと記事例を紹介(P85) 新聞記事：5箇所 ◇日本初の日刊紙「横浜毎日新聞」(P164) ◇日本の国際連盟脱退を報じる新聞(P218) ◇五・一五事件を報じる新聞(P219) ◇日独伊三国同盟調印を伝える新聞(P224) ◇ミッドウェー海戦を報じる日本の新聞(P229) ・情報の意図を読み解くための記事としても紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史新聞：1箇所 ◇歴史新聞づくりのポイント(P93) 新聞づくりのポイントと記事例を紹介 新聞記事：3箇所 ◇五・一五事件を伝える新聞(P227) ◇国際連盟脱退を伝える新聞(P227) ◇米英との開戦を伝える新聞(P232) 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事：9箇所 ◇福沢諭吉が創刊した時事新報(P189) ◇英文の社告をのせた東京朝日新聞(P198) ◇五・四運動を報じる新聞(P217) ◇東北大飢饉を報じる新聞(P224) ◇五・一五事件を報じる新聞(P230) ◇二・二六事件を報じる新聞(P231) ◇警察予備隊新設を報じる新聞記事(P257) ◇湯川秀樹ノーベル賞受賞の新聞記事(P268) ◇東日本大震災を報じる新聞記事(P276) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史新聞：1箇所 ◇歴史新聞をつくろう(P276) 新聞をつくるにあたっての手順とまとめ方、新聞例を紹介 新聞記事：4箇所 ◇日清戦争のようすを伝える新聞(P188) ◇犬養首相暗殺を伝える新聞(P227) ◇米英との開戦を報じる新聞(P234) ◇GHQによる検閲された新聞(P254) ◇日本の国連加盟を伝える新聞(P259) 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事：10箇所 ◇京都日日新聞山本宣治についての記事(P220) ◇国際連盟総会からの退場を報じる新聞(P231) ◇五・一五事件を報じる新聞(P232) ◇サイパン島の玉砕を報じる新聞(P244) ◇第五福竜丸の被ばくを伝える新聞(P268) ◇たらいから電気洗濯機へ(P273) ◇米軍機の墜落を報じる新聞(P276) ◇中国残留日本人孤児の調査を報じる新聞(P280) ◇母と再会した王曉霞(P280)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

別表4

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水
教科書の使い方（学習の進め方）に関する記載	有（P4） ・使われているマークの説明	有（P4～P5） ・構成と学習の流れ ・使い方の説明 ・マーク等の説明	有（P4） ・決まり ・マークの説明（P3）
自主学習、自由研究用に設定されている課題の数と内容	「深めよう」13箇所 「私たち歴史探検隊」6箇所	「資料から歴史を探ろう」5箇所 「人物から歴史を探ろう」7箇所 「地域から歴史を探ろう」3箇所 「世界から歴史を探ろう」3箇所 「郷土の歴史を探ろう」5箇所	「もっと知りたい歴史」9箇所 「歴史のとびら」6箇所
資料の収集・活用・整理の仕方など調べ学習の方法についての記載	第1章「歴史の流れをとらえよう」（P5～P12） ◇調査の達人13箇所	第1章「歴史の移り変わりを考えよう」（P6～P11）	歴史のとびら「身近な地域を調べよう」（P138～P143）
体験的な学習活動の例、書き込み等作業的なページの数と内容	「この時代の特色をとらえよう」6箇所 ◇古代（P61） ◇中世（P95） ◇近世（P139） ◇近代（P193/P237） ◇現代（P274） 「この時代の歴史の学習を確認しよう」6箇所 ◇古代（P62） ◇中世（P96） ◇近世（P140） ◇近代（P194/P238） ◇現代（P275）	「学習のまとめと表現」7箇所 ◇古代（P50） ◇中世（P84） ◇近世（P128） ◇近代（P152/P190/P232） ◇現代（P264） 「時代の変化に注目しよう」7箇所 ◇古代（P52） ◇中世（P86） ◇近世（P130） ◇近代（P154/P192/P234） ◇現代（P266）	「まとめてみよう」6箇所 ◇古代（P56） ◇中世（P83） ◇近世（P144） ◇近代（P206/P246） ◇現代（P274）
掲載されているコラムの数と内容	「歴史にアクセス」30箇所 ◇甲骨文字の発見（P27） ◇古代のオリンピック（P28） ◇奈良時代の人々の負担（P45） ◇蝦夷の抵抗（P49） ◇地頭を訴えた農民たち（P73） ◇ユーラシア世界史の誕生（P77） ◇河原者たちの優れた技術（P87） ◇有田焼のルーツ（P109） ◇朝鮮通信使が訪れた対潮桜（P119） ◇南部鉄器の起こり（P121） ◇江戸の火消（P125） ◇熊本藩の改革（P129） ◇渋染め一揆（P133）	「学習コラム」25箇所 ◇古代ギリシアの文化（P19） ◇古代中国の歴史書に記載された倭（P27） ◇奥州藤原氏と平泉（P57） ◇鎌倉時代の女性の地位（P61） ◇オホーツク文化と擦文文化（P75） ◇庭園づくりに活躍した人々（P81） ◇ほろぼされた中南アメリカの文化（P93） ◇野國總管と青木昆陽～飢饉から人々を救った甘藷（さつまいも）（P121） ◇米沢藩の藩政改革（P123） ◇革命を支えた思想家たち（P133）	「学習に関するコラム」15箇所 ◇岩宿遺跡（P12） ◇「縄文海進」と貝塚（P13） ◇朝貢のしくみ（P24） ◇聖徳太子と歴史の研究（P32） ◇鉄砲の普及（P98） ◇天正遣欧少年使節（P99） ◇日本語になったポルトガル語（P104） ◇島原・天草一揆（P113） ◇赤穂事件（P125） ◇賤民廃止令と人々（P169） ◇自由民権運動の広がり（P183） ◇植民地となる前の台湾（P194） ◇日本の人権宣言～全国水平社の結成～（P219）

46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
有（巻頭Ⅲ） ・学習の仕方 ・マーク使用上の注意	有（P5） ・使い方の説明	有（P6） ・構成と特徴	有（P5） ・使い方、学習の流れ ・マークについて ・特集について	有（巻頭） ・使い方
「歴史を探ろう」11箇所 「トライアル歴史」2箇所	「先人に学ぶ」8箇所 「とらえよう！時代の転換」5箇所 「歴史を掘り下げる」9箇所	「もっと知りたい」32箇所	「課題学習」6箇所 「このころ世界は」6箇所 「歴史ズームイン」15箇所 「なでしこ日本史」5箇所	「歴史を体験する」6箇所
第1部「歴史のとらえ方と調べ方」（P1～P11）	第1編「歴史のとらえ方」（P6～P13）	序章「歴史の捉え方」（P7～24）	序章（P8～P12）	歴史への案内（P6～P9）
「タイムトラベル」9箇所 ◇古代（P20/P30） ◇中世（P50/P72） ◇近世（P92/P114） ◇近代（P156/P202） ◇現代（P236） 「学習を振り返ろう」6箇所 ◇古代（P48） ◇中世（P84） ◇近世（P136） ◇近代（P192/P234） ◇現代（P262）	「学習の活用」6箇所 ◇古代（P56） ◇中世（P94） ◇近世（P144） ◇近代（P202/P242） ◇現代（P278）	「各章のまとめ」6箇所 ◇古代（P79） ◇中世（P107） ◇近世（P151） ◇近代（P209/P249） ◇現代（P277）	「学習のまとめ」6箇所 ◇古代（P62） ◇中世（P94） ◇近世（P148） ◇近代（P202/P246） ◇現代（P274）	「部のまとめ」6箇所 ◇古代（P54） ◇中世（P86） ◇近世（P142） ◇近代（P190/P254） ◇現代（P292） 「章をふりかえる」10箇所 ◇1章（P30） ◇2章（P54） ◇3章（P86） ◇4章（P112） ◇5章（P142） ◇6章（P168） ◇7章（P190） ◇8章（P220） ◇9章（P254） ◇10章（P290）
「羅針盤マーク」30箇所 ◇自然を敬った古代の人々（P47） ◇東アジアの美、磁器（P69） ◇中世の老人と子ども、女性（P75） ◇自然を生かした信玄堤（P79） ◇差別された人々（P117） ◇森林伐採と植林（P119） ◇江戸のごみを利用した農業（P135） ◇工業の発達と生活環境の悪化（P143） ◇渋染め一揆（P149） ◇差別からの解放運動（P159） ◇日本での選挙の始まり（P175）	「世界史＋α」3箇所 ◇儒教（P23） ◇つながる世界と生活の変化（P103） ◇移民の国アメリカ（P155） 「古代史＋α」4箇所 ◇磐井の乱（P35） ◇いつから「日本」と「天皇」が使われるようになったの（P39） ◇天皇や太政官の仕事（P43） ◇日本の神話（P47） 「中世史＋α」1箇所 ◇河原者がつくり出した文化（P87）	「ミニコラム」21箇所 ◇釈迦と仏陀（P37） ◇敗戦を教訓にした律令国家（P59） ◇平城京と平安京の違い（P63） ◇古事記と日本食（P64） ◇行基と大仏造立（P65） ◇日本国王になった足利義満（P95） ◇戦国大名と分国法（P111） ◇秀吉とフェリペ2世（P119） ◇江戸の会議と民権派の憲法草案（P185） ◇金玉均と甲申事変（P190） ◇日露条約の問題点/日英同盟の利点（P193）	「歴史ビュー」11箇所 ◇吉野ケ里遺跡（P29） ◇江戸時代の身分制度（P123） ◇百姓一揆の実態（P135） ◇わが国固有の領土である国境の島々（P173） ◇刀を捨て、茶畑づくりに精魂を傾けた武士のエリート一静岡県牧之原お茶物語一（P175） ◇民間でもつくられた憲法草案（五日市憲法）（P183） ◇幻の人種平等案（P215） ◇幻の東京オリンピック（P231） ◇何がアメリカ国民を戦争に導いたのか（P235）	91箇所 ◇人類と火の使用（P13） ◇野生動物から家畜へ（P15） ◇読解されたエジプトの象形文字（P17） ◇今も読まれる孔子の論語（P21） ◇十字架のイエス（P23） ◇赤土の崖から発見（P25） ◇三内丸山の大規模なムラ（P27） ◇稲作の始まりと広がり（P29） ◇倭人伝が伝える倭人の生活と社会（P35） ◇大王の名をうめ込んだ鉄剣（P37） ◇遣隋使と中国皇帝は何を語ったか（P39）

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎	
掲載されているコラムの数と内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ペリーの来航と台場 (P155) ◇新撰組 (P158) ◇エルトゥールル号遭難事件 (P175) ◇日露戦争と「マツヤマ」 (P179) ◇孫文と日本 (P181) ◇社会主義の動向と大逆事件 (P183) ◇ジャポニズム (P185) ◇ソ連の計画経済 (P201) ◇ガンディー (P205) ◇関東大震災 (P211) ◇「命のビザ」 (P223) ◇原水爆禁止運動 (P249) ◇ベトナム戦争 (P251) ◇日本の領土をめぐる問題とその歴史 (P252) ◇日本の漫画とアニメ (P257) ◇中国の経済発展 (P259) ◇戦争を記憶し、平和を発信する沖縄 (P263) <p>「女性コラム」7箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇貴族の娘 (P51) ◇武士の妻 (P71) ◇女性への教え (P115) ◇産業の発展を支えた工女 (P183) ◇女性の選挙権のために (P203) ◇欧米化する暮らしと女性 (P211) ◇女性の社会参画 (P263) <p>テーブルイク3箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ (P66) (P69) (P177) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ナポレオンの支配 (P135) ◇ペリー的那覇・函館寄港 (P145) ◇幕末の国際交流～海を渡った武士たち (P149) ◇北海道の開拓とアイヌの人たち (P163) ◇琉球処分～琉球王国の終わり (P165) ◇台湾の植民地化 (P175) ◇産業の発展と豊田佐吉の発明 (P185) ◇財閥と日本の経済発展 (P199) ◇日本人がみた三・一独立運動 (P203) ◇関東大震災 (P209) ◇中東戦争 (P241) ◇歴史のなかの在日韓国・朝鮮人 (P243) ◇キューバ危機 (P247) ◇アラブの春 (P255) ◇東日本大震災 (P259) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ナチスの政策 (P227) ◇大学は出たけれど (P228) <p>「人物コラム」12箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇玄奘 (P29) ◇阿倍仲麻呂 (P42) ◇蓮如 (P85) ◇雨森芳洲 (P114) ◇大黒屋光太 (P133) ◇堀保己一 (P134) ◇リンカン (P155) ◇橋本左内 (P162) ◇坂本龍馬 (P164) ◇福沢諭吉 (P172) ◇孫文 (P197) ◇柳宗悦 (P215) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇孔子 (P16) ◇シャカ (P17) ◇イエス (P19) ◇鑑真 (P40) ◇菅原道真 (P43) ◇平将門 (P53) ◇源義経 (P55) ◇栄西 (P65) ◇足利義満 (P69) ◇雪舟 (P82) ◇千利休 (P99) ◇山田長政 (P104) ◇天草四郎 (P105) ◇徳川綱吉 (P117) ◇高田屋嘉兵衛 (P122) ◇松尾芭蕉 (P125) ◇ワシントン (P139) ◇ナポレオン (P141) ◇マルクス (P143) ◇高杉晋作 (P147) ◇大塩平八郎 (P149) ◇ペリー (P150) ◇吉田松陰 (P151) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇日本と中国をつないだ人々 (P183) ◇公害の登場、足尾鉍毒事件 (P187) ◇差別された人々がえがいた文学 (P190) ◇祖国の音楽を紹介したドイツ兵 (P197) ◇人種差別撤廃への道 (P199) ◇社会に羽ばたく女性たち (P199) ◇朝鮮との架け橋となった日本人 (P201) ◇全国水平社の結成 (P207) ◇芸術に込めた反戦の意志 (P217) ◇幻の東京オリンピック (P224) ◇ドイツのユダヤ人迫害に抵抗した日本人 (P225) ◇子どもの文化の変化 (P227) ◇語り継がれる沖縄戦 (P231) ◇核兵器開発競争と日本 (P243) ◇在日韓国・朝鮮人 (P245) ◇現在に残る沖縄の基地問題 (P249) ◇言論の自由の回復と戦争へのまなざし (P253) ◇環境問題や災害に生かす知恵と技術 (P260) ◇世界に広がる日本の伝統と文化 (P261) <p>「歴史上の人物」41名</p>	<p>[近世史+α]9箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇天正少年使節 (P105) ◇石見銀山 (P111) ◇江戸の町火消 (P125) ◇豊かになる人々と身分制のひきしめ (P135) ◇武左衛門一揆 (P137) ◇帝国憲法の内容 (P187) ◇孫文と日本 (P195) ◇日本で最初の公害反対運動～足尾鉍毒事件 (P197) ◇三・一独立運動を支持した日本人 (P213) <p>「近代史+α」2箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇関東大震災 (P219) ◇日本の満州支配に反対したジャーナリスト (P227) <p>「現代史+α」6箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇シベリア抑留と中国残留孤児 (P253) ◇平和都市記念建設と原水爆禁止運動 (P257) ◇平和条約に調印しなかった国 (P259) ◇技術革新 (P261) ◇韓国・中国との国交正常化と現在の課題 (P265) ◇ベトナムとアフガニスタン (P266) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇アメリカの対日砲艦外交 (P198) ◇文語体と口語体の作品 (P207) ◇日英同盟は何故廃止されたか (P221) ◇ブロック経済と日本 (P225) ◇日本と中国はなぜ平和を実現できなかったのか (P232) ◇迫害されたユダヤ人を助けた日本人樋口季一郎と杉原千敏 (P237) ◇日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々 (P241) ◇創氏改名とは何か (P243) ◇石油危機 (P265) ◇戦争と全体主義の犠牲者 (P271) <p>「歴史の言葉」10箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ムラ・クニ 共同体 (P39) ◇倭の五王 (P48) ◇天皇・皇帝 (P55) ◇上皇・法王・院政 (P77) ◇征夷大將軍・幕府 (P85) ◇鎖国 (P127) ◇身分制度と百姓・町人 (P131) ◇青木昆陽と上杉鷹山 (P143) ◇事変 (P233) ◇国際連合 (P256) <p>「その他」10箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇養蚕と機織りを伝えた秦氏 (P51) ◇遣唐使廃止の理由 (P70) ◇フビライの国書 (P88) ◇ペリーは日本人をどう見たか (P159) ◇条約改正に関する外務大臣・陸奥宗光の議会演説 (P183) ◇憲法を賞賛した内外の声 (P186) ◇中国の情勢についての米外交官マクリーの見解 (P229) ◇中国に自重を求める幣原喜重郎の見解 (P229) ◇リットン調査団の要点 (P231) ◇アジアの人々を奮い立たせた日本の行動 (P241) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇トインビーが見た「第二次世界大戦と日本」 (P237) ◇核と世界 (P265) <p>「人物クローズアップ」15箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇藤原道長の栄華 (P55) ◇学問の神様・菅原道真 (P57) ◇百人一首と藤原定家 (P77) ◇支倉常長一幻となったメキシコ貿易の夢 (P119) ◇上杉鷹山一自らが模範となって財政を立て直した藩主 (P133) ◇農民自身による農村を復興した二宮尊徳 (P139) ◇全国を踏破した伊能忠敬 (P145) ◇吉田松陰と松下村塾 (P163) ◇陸奥宗光一条約改正と日清戦争の立役者 (P187) ◇台湾にダムを造った八田興一 (P193) ◇足尾銅山鉍毒事件と田中正造 (P195) ◇フェノロサと救世観音 (P198) ◇正岡子規と夏目漱石 (P199) ◇世界の平和に力を尽くした新渡戸稲造 (P219) ◇杉原千敏と樋口季一郎 (P233) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇日本と天皇 (P41) ◇長屋王の大邸宅 (P43) ◇常陸国風土記に書かれた富士山と筑波山 (P47) ◇アラビア数字とローマ数字 (P49) ◇新皇と名のつた平将門 (P51) ◇これが極楽浄土だー平等院鳳凰堂 (P53) ◇火薬の発明 (P59) ◇奥州藤原氏と中尊寺金色堂 (P61) ◇右目を射られた鎌倉権五郎景政 (P63) ◇大仏再建の熱狂 (P65) ◇海を渡る禅僧たち (P67) ◇都市鎌倉と見世棚 (P69) ◇気候の変動と大飢饉 (P71) ◇元を攻撃したカラフト (サハリン) のアイヌ (P73) ◇働く子ども売られる子ども (P75) ◇朝鮮の文字ハンゲルがつくられる (P77) ◇油商人、国々を行く (P79) ◇朝鮮の使節が見た日本の農業 (P81) ◇銀閣をつくった人々 (P83) ◇アイヌの人々がになう北方の交易 (P85) ◇大西洋をこえて運ばれた黒人奴隷 (P91) ◇マゼラン船隊の世界一周 (P93) ◇戦国時代の子どもたち (P95) ◇ザビエルとアンジロー (P97) ◇將軍義昭を非難する信長 (P99) ◇島津氏の奄美群島と琉球王国への侵攻 (P103) ◇朝鮮の武将となった沙也可 (P105) ◇江戸の町と水路 (P107) ◇大名が取りつぶされる (P109) ◇新田開発と新しい農具 (P119) ◇琉球王国の使節 (P125)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
掲載されているコラムの数と内容				<ul style="list-style-type: none"> ◇勝海舟 (P152) ◇福沢諭吉 (P163) ◇西郷隆盛・大久保利通 (P167) ◇クラーク (P170) ◇伊藤博文 (P175) ◇正岡子規 (P189) ◇ウィルソン (P194) ◇ガンディー (P201) ◇原敬 (P205) ◇平塚らいてう (P207) ◇宮沢賢治 (P215) ◇蒋介石・毛沢東 (P220) ◇斎藤隆夫 (P225) ◇吉田茂 (P244) ◇湯川秀樹 (P253) ◇手塚治虫 (P255) <p>「地域の歴史」18箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇蝦夷と東北の支配 (P43) ◇奥州藤原氏の栄華 (P53) ◇大仏殿を失った鎌倉大仏 (P60) ◇巡礼の道、熊野古道 (P61) ◇鉄砲づくりを支えた堺と国友 (P90) ◇世界の銀を支えた岩見银山 (P91) ◇鳥取藩の参勤交代 (P103) ◇日光東照宮と街道の発達 (P120) ◇財政改革に成功した米沢藩 (P128) ◇教育のために使われた米百俵 (P159) ◇横浜港と絹の道 (P165) ◇自由は土佐の山間より (P172) ◇多摩地方の自由民権運動 (P173) ◇中華街の形成 (P183) ◇人口日本一だった新潟県 (P185) ◇観光都市別府の誕生 (P210) ◇大都市を襲った関東大震災 (P212) ◇小笠原諸島の返還 (P247) <p>「歴史の基礎技能」11箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報の集め方 (P8) ◇野外聞き取り調査の仕方 (P9) ◇レポートのまとめ (P10) ◇発表の仕方 (P11) ◇系図の見方 (P33) ◇しくみ図の見方 (P34) ◇絵巻物の見方 (P43) 		<p>「外の目から見た日本」6箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇盗みがなく、争いの少ない社会 (P41) ◇宣教師の見た日本人 (P120) ◇幕末・明治期の日本人の生き方 (P180) ◇世界が見た日露戦 (P208) ◇大東亜戦争とアジアの独立 (P246) ◇東日本大震災と日本人 (P276) 		<ul style="list-style-type: none"> ◇江戸の町を支えるひとびと (P129) ◇百姓一揆のなかまから生まれた思想 (P131) ◇国学を大成させた本居宣長 (P133) ◇奴隷制度は憲法違反と訴えた黒人女性 (P147) ◇ハイチ革命—小さなクニの大きな革命 (P149) ◇フランス語が話せないフランス人 (P153) ◇アヘン戦争と江戸幕府 (P155) ◇インド大反乱のなかの女性 (P157) ◇安政の大地震 (P161) ◇アームストロング砲とミニエー銃 (P163) ◇ええじゃないか (P165) ◇江戸城に向かう天皇 (P167) ◇職を失った武士 (P173) ◇6歳の女子留学生 (P181) ◇士族の反乱と西南戦争 (P183) ◇秩父事件 (P185) ◇教育勅語と御真影 (P187) ◇増える日本人 (P203) ◇アジア・アフリカと第一次世界大戦 (P207) ◇辛亥革命後の変化 (P209) ◇ガンジーの非暴力主義 (P213) ◇少女たちの労働争議 (P215) ◇関東大震災—いわれなく殺された人々 (P217) ◇家族や社会から引き離されたハンセン病患者 (P219) ◇モダン・タイムスと独裁者 (P225) ◇欠食児童と学校給食 (P227) ◇ピカソが描いたゲルニカ爆撃 (P229) ◇日本の満州開拓と中国人農民 (P231) ◇消えた東京オリンピック (P233) ◇地下道を掘って戦う (P235) ◇ヒトラーに抵抗した若者達 (P237) ◇朝鮮・台湾の人々と日本の戦争 (P239)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水
掲載されているコラムの数と内容			

46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
<ul style="list-style-type: none"> ◇資料を基に歴史をとらえる (P107) ◇仮説を立てて歴史をとらえる (P155) ◇現在と過去の立場からとらえる (P177) ◇情報の意図を読み解く (P229) 				<ul style="list-style-type: none"> ◇いったいどうして人間は (「アンネの日記」1944年5月3日) (P241) ◇こういうこと言うと警察に捕まったー特高月報より (P243) ◇ある特攻隊員の母への遺書 (P245) ◇中学生・女学生は工場へ (P247) ◇沖縄戦ー日本軍の作戦目標 (P249) ◇アメリカが原爆を投下した理由 (P251) ◇日本国憲法と旧植民地の人びと (P261) ◇浮浪児と呼ばれてー当時14歳の少年の話 (P263) ◇日本と朝鮮戦争 (P265) ◇インドネシアの独立 (P267) ◇被爆者の心を世界に伝える高校生 (P269) ◇憲法を暮らしに活かす (P271) ◇薪割りからの解放 (P273) ◇忘れなかったマルタの歌声 (P275) ◇問い直される人権の侵害 (P281) ◇原発事故は警告されていた (P287) ◇子ども達の力と行動 (P289)

別表 5

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水
「発展」などの記載のあるページの数と内容	無	無	無
京都府の歴史的事象に関する発展的な内容	◇深めよう「室町時代の生活文化と現代」(P94)	無	◇もっと知りたい歴史「宮廷の女性と仮名文学」(P54～55)

46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
無	無	無	無	無
◇トライアル「坂本龍馬暗殺の謎」(P154～155)	◇図版特集「室町時代の暮らし」(P88～89) ◇先人に学ぶ「幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル」(P140～P141)	◇もっと知りたい「仮名文字と女流文学」(P74～P75)	◇課題学習「奈良・京都の文化遺産を調べる」(P60～61)	◇インターネットで検索『洛中洛外図屏風』(P112)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

別表6

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水
地理的分野との関連を示す印(マーク)など教	有 22箇所 自然、文化、工業、地図などで特に関わりの深いものに印(マーク)あり	無	無
公的分野との関連を示す印(マーク)など教	有 33箇所 文化、政治、経済、人びとの暮らしなど特に関係の深いものに印(マーク)あり	無	無
道徳との関連を示す印などのある内容と教	無	無	無
人権教育と関連のある内容、男女共同参画社会の追究に対する配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◇人々の身分と負担(P44) ◇河原者たちの優れた技術(P87) ◇奴隷がつめ込まれた船(P103) ◇有田焼のルーツ(P109) ◇様々な身分と暮らし(P114) ◇朝鮮通信使(P118) ◇百姓一揆と差別の強化(P127) ◇洪初め一揆(P133) ◇人権宣言(P147) ◇アンクルトムの小屋(P151) ◇ヨーロッパのアジア侵略(P152) ◇身分制度の廃止(P161) ◇福沢諭吉(P165) ◇自由民権運動(P171) ◇与謝野晶子(P178) ◇日露戦争とマツヤマ(P179) ◇韓国併合を歌った二つの短歌(P180) ◇産業の発展を支えた女工(P183) ◇解放令から水平社へ(P190) ◇足尾銅山と田中正造(P192) ◇女性の選挙権のために(P203) ◇ガンディー(P204) ◇解放を求めて(P208) ◇命のビザ(P223) ◇アンネの日記(P223) ◇北海道とアイヌ民族の歴史(P234) ◇男女共学(P245) ◇原水爆禁止運動(P249) ◇拉致問題(P260) ◇現代の公害問題とその克服(P268) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇奴婢(P40) ◇鎌倉時代の女性の地位(P61) ◇庭園造りに活躍した人々(P81) ◇働く女性や子どもたち(P82) ◇滅ぼされた中南アメリカの文明(P92) ◇身分ごとに異なる暮らし(P112) ◇解体新書(P124) ◇独立宣言(P134) ◇人権宣言(P135) ◇ロンドンのスラム(P136) ◇イギリスの炭鉱で働く子どもたち(P137) ◇南北戦争(P138) ◇ナイティンゲール(P139) ◇改革や平等を求めて(P151) ◇残された差別(P159) ◇北海道の開拓とアイヌの人たち(P163) ◇五日市憲法(P167) ◇アイヌの文化を伝えた人たち(P171) ◇与謝野晶子(P178) ◇足尾鉍毒事件(P186) ◇日本人が見た三・一独立運動(P203) ◇ガンディー(P203) ◇平塚らいてう(P207) ◇全国水平社(P207) ◇アンネの日記(P223) ◇後藤新平と杉原千畝(P230) ◇女性の国会議員の誕生(P236) ◇世界人権宣言(P261) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇奴婢(P40) ◇宮廷の女性と仮名文学(P54) ◇秀吉の朝鮮侵略(P103) ◇出雲の阿国(P107) ◇身分による制限(P110) ◇家制度と女性(P111) ◇雨森芳洲(P114) ◇奴隷貿易(P149) ◇アメリカ独立宣言(P150) ◇人権宣言(P151) ◇リンカン(P155) ◇賤民廃止令と人びと(P168) ◇福沢諭吉(P173) ◇旧土人保護法(P179) ◇中江兆民(P182) ◇自由民権運動の広がり(P183) ◇与謝野晶子(P193) ◇足尾鉍毒事件(P199) ◇家の制度と女性(P201) ◇ガンディー(P214) ◇柳宗悦(P215) ◇吉野作造(P216) ◇米騒動(P217) ◇日本の人権宣言(P219) ◇関東大震災(P221) ◇ナチスの政策(P227) ◇血債の塔(P238) ◇女性代議士(P250) ◇女性が学ぶ権利を訴えるパキスタンの少女(P277)

46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
無	有 6箇所 古代文明、宗教、地名など関わりのあるところに印(マーク)あり	無	無	無
無	有 4箇所 政治、憲法、国際社会など関係のあるところに印(マーク)あり	無	無	無
無	無	無	無	無
<ul style="list-style-type: none"> ◇奴婢(P38) ◇中世の老人と子ども、女性(P75) ◇庭造りに活躍した河原者(P83) ◇奴隷船(P89) ◇朝鮮通信使(P109) ◇差別された人々(P117) ◇解体新書(P132) ◇権利の章典(P138) ◇アメリカ独立宣言(P139) ◇人権宣言(P141) ◇炭鉱での子どもの労働のようす(P143) ◇リンカン(P144) ◇洪初め一揆(P149) ◇差別からの解放運動(P159) ◇福沢諭吉(P163) ◇日本での選挙の始まり(P175) ◇日露戦争をめぐるさまざまな意見(P181) ◇足尾鉍毒事(P187) ◇差別された人々をえがいた文学(P190) ◇人種差別撤廃への道(P199) ◇ガンディー(P201) ◇全国水平社運動(P207) ◇平塚らいてう(P207) ◇芸術に込めた反戦の意志(P217) ◇ドイツのユダヤ人迫害(P225) ◇教育基本法と教育の民主化(P241) ◇在日韓国・朝鮮人(P245) ◇男女共同参画社会(P254) ◇日本における先住民(P256) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇奴婢(P41) ◇河原者がつくり出した文化(P87) ◇中世の女性たち(P90) ◇奴隷船の内部(P103) ◇江戸時代の身分制度(P123) ◇身分制の引き締め(P135) ◇人権宣言(P153) ◇リンカン(P155) ◇身分制の廃止と四民平等(P167) ◇与謝野晶子(P192) ◇足尾鉍毒事件(P197) ◇青鞥社の宣言(P198) ◇ガンディー(P212) ◇柳宗悦(P213) ◇全国水平社運動(P217) ◇新婦人協会(P217) ◇タイピスト(P217) ◇関東大震災(P219) ◇ゲルニカ(P223) ◇満州支配に反対したジャーナリスト(P227) ◇斉藤隆夫(P229) ◇アンネフランク(P231) ◇アウシュビッツ(P231) ◇新渡戸稲造と杉原千畝(P238) ◇初めての女性国会議員(P250) ◇同和对策審議会答申(P271) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇身分制度(P130) ◇身分制度と百姓・町人(P131) ◇四民平等(P167) ◇自由民権運動(P184) ◇足尾鉍毒事件(P203) ◇工場で働く女性(P215) ◇ガンジー(P217) ◇全国水平社(P219) ◇パスガール(P223) ◇アウシュビッツ(P227) ◇樋口季一郎と杉原千畝(P237) ◇婦人代議士(P253) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇奴婢(P47) ◇奴隷船(P103) ◇朝鮮通信使(P121) ◇江戸時代の身分制度(P123) ◇人権宣言(P157) ◇四民平等(P169) ◇福沢諭吉(P179) ◇南北戦争(P181) ◇五日市憲法(P183) ◇松山収容所(P191) ◇足尾鉍毒事件(P195) ◇アジアの民族運動(P214) ◇ガンジー(p215) ◇全国水平社(P217) ◇ゲルニカ(P225) ◇斉藤隆夫(P230) ◇杉原千畝と樋口季一郎(P223) ◇与謝野晶子(P248) ◇平塚らいてう(P248) ◇ドライラマ 14世(P270) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇働く子ども、売られる子ども(P75) ◇銀閣をつくった人びと(P83) ◇奴隷船(P88) ◇奴隷貿易(P91) ◇身分による社会(P117) ◇雨森芳洲(P124) ◇朝鮮通信使(P125) ◇百姓一揆の中から生まれた思想(P131) ◇奴隷制度は憲法違反と訴えた黒人奴隷(P147) ◇国民の権利、女性の権利、黒人の権利(P149) ◇工場で働く子ども達(P150) ◇古い身分の廃止と新しい身分(P173) ◇福沢諭吉(P179) ◇中江兆民(P179) ◇民衆が作った憲法(P184) ◇与謝野晶子(P199) ◇民族運動の高まり(P212) ◇始まりは女一揆(P214) ◇女性は太陽だった(P216) ◇デモクラシーの波(P218) ◇ヒトラーに抵抗した若者達(P237) ◇戦争と二人の少女(P240)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項

別表 7

調査項目	2 東書	17 教出	35 清水	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
ユニバーサルデザイン化に向けた工夫（文字の書体、大きさ、図表等の色遣い、装丁方法等）	◇A B判を採用している。 ◇特別支援教育に関する校閲を受け、カラーバリアフリーに配慮している。また、ゴシック体の振り仮名を採用している。 ◇重要事項を太字（ゴシック体）で表記している。	◇A B判を採用している。 ◇特別支援教育に関する校閲を受け、カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを採用している。 ◇重要事項を太字（ゴシック体）で表記している。	◇B 5判を採用している。 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを使用し、1行の文字数を少なく表記している。 ◇重要事項を太字（ゴシック体）で表記している。	◇A B判を採用している。 ◇カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。 ◇重要事項を太字（ゴシック体）で表記している。	◇A B判を採用している。 ◇特別支援教育・ユニバーサルデザインに関する校閲を受け、ルビをすべてゴシック体にしていく。 ◇重要事項を太字（ゴシック体）で表記している。	◇B 5判を採用している。 ◇重要事項を太字（ゴシック体）で表記している。	◇A B判を採用している。 ◇カラーバリアフリーに配慮し、ふりがなにゴシック体を使用している。 ◇重要事項を太字（ゴシック体）で表記している。	◇A判を採用している
資料（写真、統計やグラフ）の数と掲載方法等の配慮事項	360点 ◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。	309点 ◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。	294点 ◇資料ごとに番号を付している。	418点 ◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。	513点 ◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。	312点	373点 ◇資料ごとに番号を付している。	443点 ◇資料ごとに番号を付している。
史料（法令、文献、絵図、肖像画、絵等）の数と掲載方法等の配慮事項	608点 ◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記している。	472点 ◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記している。	457点 ◇資料ごとに番号を付している。	567点 ◇本文中に史料と表記し、関連を示している。	492点 ◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記している。	341点	447点 ◇史料ごとに番号を付している。	561点 ◇史料ごとに番号を付している。
注記の数	99項目 ◇本文中に注記番号を記している。	203項目 ◇本文中に注記番号を記している。	111項目 ◇本文中に注記番号を記している。	56項目 ◇本文中に注記番号を記している。	158項目 ◇本文中に注記番号を記している。	171項目 ◇本文中に注記番号を記している。	172項目 ◇本文中に注記番号を記している。	146項目
索引（歴史上の出来事や重要語句、人物等）の数とページ数	人名索引：346項目 2ページ 事項索引：1057項目 4ページ	人名索引：363項目 3ページ 事項索引：814項目 6ページ	人名索引：256項目 4ページ 事項索引：996項目 8ページ ◇小学校で学んだおもな人物をイラスト付きで表記している。	人名索引：299項目 2ページ 事項索引：758項目 3ページ ◇小学校で学習した人物を下線で示し、政治・国際交流・地域・文化などの項目ごとに印をつけたり、色分けしたりして表記している。 ◇人名・事項とも本文中に太字で掲載されているページを太字で表記している。	人名索引：259項目 3ページ 事項索引：576項目 5ページ テーマ別索引：155項目 2ページ ◇人名・事項とも本文中に太字で掲載されているページを赤字で表記している。 ◇政治・経済社会・文化・外交などテーマ別の索引がある。	人名索引：265項目 3ページ 事項索引：905項目 6ページ	人名索引：436項目 3ページ 事項索引：867項目 5ページ ◇小学校で学習した人物に◎をつけている。 ◇人名・事項とも本文中に太字で表された項目をゴシック体の太字で表記している。	人名・事項索引：1476項目 10ページ ◇人物や出来事などを一つの索引にまとめている。
用語解説の数と掲載方法等の配慮事項	用語解説：110項目 ◇巻末に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。	用語解説としてのページ設定はないが、注釈の一部などで解説している。	用語解説としてのページ設定はないが、注釈の一部などで解説している。	用語解説：53項目 ◇わかりにくい用語を目次の中で挙げ、それぞれのページで用語を解説している。	用語解説：28項目 ◇歴史に役立つ用語を目次の中で挙げ、それぞれのページで用語を解説している。	用語解説：90項目 ◇各章末に「歴史豆辞典」を設定し、各時代ごとに用語を15項目挙げ、100字程度で解説している。	用語解説としてのページ設定はないが、注釈の一部などで解説している。	用語解説としてのページ設定はないが、注釈の一部などで解説している。
綴じ込み歴史年表の有無と配慮事項	巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏の2面にまとめられている日本と外国との関係を示す出来事に印をつけて示している。 ◇教科書で学習する章を年表中に明記している。	巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇左右に広げて全時代を見通すことができるようにまとめている。	巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏2枚にわたって4面にまとめられている。 ◇日本の文化にかかわる写真や資料を載せている。	巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏3面にわたってまとめられている。 ◇日本と海外の交流について図式化して示している。 ◇世界のおもなできごとと世界遺産の写真を載せている。 ◇教科書で学習する章を年表中に明記している。	巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏4面にわたってまとめられている。 ◇外国とのつながりについてイラストや写真などの資料を載せ、つながりを図式化して示している。 ◇世界遺産の写真を両脇に掲載している。 ◇教科書で学習する章が年表中に明記している。	巻末に年表が5ページにわたってまとめられている。 ◇古代律令国家の形成過程と近代国家の形成過程にあたる範囲を年表中に色で示している。 ◇横書きで表記している。 ◇教科書で学習する章を年表中に明記している。	巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏の2面にまとめられている日本と外国との関係を示す出来事に印をつけて、日本と外国の関係を矢印でつないで示している。 ◇教科書で学習する章を年表中に明記している。	巻末に年表が20ページにわたってまとめられている。 ◇資料・史料・図版を年表中に盛り込んでいる。 ◇横書きで表記している。

